



取扱説明書

ラインスキャンカメラ

型式：RMSL8K76CP/RMSL6K76CP/RMSL4K76CP



日本エレクトロセンサリデバイス株式会社



はじめに

この度は、弊社の製品をご購入いただき、まことにありがとうございます。
今後とも弊社の製品を、末永くご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

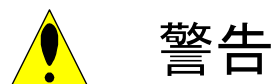
安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書をお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

- ◆ 本製品を取り扱う上で重要な項目については次のマークで警告の表示を行っております。

 警告	誤った取扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性のあることを示します。
 注意	誤った取扱いをすると人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生するおそれのあることを示します。

安全上のご注意



- ◆ 分解や改造はしないでください。
- ◆ 濡れた手で、接続ケーブルのピンや金属部分にさわらないでください。
- ◆ 雨や水滴のかかる場所、有毒なガスや液体のある場所では使用しないでください。
- ◆ 長期間、ご使用にならない場合は、安全のため接続ケーブルをカメラから外してください。
- ◆ 高所での設置や点検等の作業をする場合は、機器や部品の落下防止策を十分に行ってから実施してください。
- ◆ 煙が出たり、異臭や異音がする場合はすぐに供給電源を切って、ケーブルを製品から外してください。
- ◆ 本機の異常により、重大な事故につながるシステムに使用しないでください。

使用上のご注意



注意

- ◆ 必ず使用温度範囲内でご使用ください。
- ◆ 必ず指定の電源電圧でご使用ください。
- ◆ 製品を落下させたり、強い衝撃や振動を与えないでください。
- ◆ 内部温度上昇をさける為、周囲に十分なスペースをとって設置してください。
- ◆ ほこりや粉塵の多い場所でのご使用の際は、必ず粉塵防護策をしてください。
- ◆ 通電状態でケーブルを抜き差しすると製品が損傷する事がありますので、ケーブルを抜き差しする場合は、必ず供給電源を切ってください。
- ◆ ウィンドウガラスの表面にゴミや汚れが付着すると、画像に黒キズとして表示しますので、ゴミはエアブロー等で吹き飛ばし、汚れはエチルアルコールをつけた綿棒等でガラス面にキズをつけないように拭き取ってください。
- ◆ 昼光色蛍光灯など赤外成分を含まない光源の使用を推奨しますが、ハロゲンランプなどの光源を使用する場合は赤外線カットフィルタを併用ください。
- ◆ 可視光領域外の長波長の光を使用する場合、特性に影響がありますので、注意下さい。
- ◆ 使用する光源の分光特性によって、有効画素範囲内において感度むらが生じる場合があります。この場合、異なる分光特性の照明に変える事で感度むらを少なく出来る場合があります。また、4.11 画素補正機能を使用することで、この感度むらを完全になくすことができます。詳しくは4.11 画素補正機能を参照ください。
- ◆ センサに過度の光量を与えると、過飽和状態となり特性に影響がありますので、注意下さい。(本製品は、過飽和防止機能はありません。)
- ◆ より安定した画像を取り込む場合は、電源投入後 10~20 分間エージングを行った後に使用してください。
- ◆ モータなどのノイズ源と電源を共有することは避けてください。
- ◆ SG (シグナル・グランド) と FG (フレーム・グランド) はカメラ内で接続されています。GND 電位差によるループが形成されないようシステム設計を行ってください。
- ◆ 内蔵メモリ (フラッシュメモリ) 内容を書き換え中にカメラ供給電源を切らないでください。
- ◆ 外部トリガを使用する場合は、あらかじめフレームグラバボードよりトリガパケットを供給した状態にて、設定変更を行ってください。

製品保証について

無償保証期間

- ◆ 商品の無償保証期間は「お買上げ後2年」となります。
- ◆ ただし、使用環境・使用条件・使用頻度や回数などにより、商品の寿命に影響を及ぼす場合は、この保証期間が適用されない場合があります。

保証範囲

- ◆ 製品修理は弊社への SEND・バック（製品返却）となります。現地修理は別途料金が発生します。
- ◆ 無償保証期間中に弊社側の責任により故障を生じた場合は、その商品の故障部分の交換または修理を弊社にて無償で行わせていただきます。返送送料は発送元のご負担とします。ただし、次に該当する場合はこの保証の対象範囲から除外させていただくものといたします。
- ◆ 代替品との交換又は修理を行った場合でも保証期間の起算日は、対象製品の当初ご納入日とさせていただきます。

保証対象範囲からの除外

- ◆ 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。火災、地震、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害。
- ◆ 本装置の使用又は使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断等）。
- ◆ 本書で説明された以外の使い方により生じた損害。
- ◆ 接続機器との組合せによる誤動作などから生じた損害。
- ◆ お客様ご自身が修理・改造を行った場合に生じた損害。

故障診断

- ◆ 一次故障診断は、原則としてお客様との電話または、メールなどの連絡により故障状況の把握にご協力をお願い致します。
- ◆ 但し、お客様の要請により弊社または弊社協力会社がこの業務を有償にて代行致します。

機会損失などの補償責任の除外

- ◆ 無償保証期間内外を問わず、弊社商品の故障に起因するお客様あるいはお客様の顧客殿での機会損失ならびに弊社商品以外への損傷、その他業務に対する補償は弊社の保証外とさせていただきます。

商品の使用上の注意

- ◆ 商品は一般工業向けの汎用製品として設計・製造を行っております。生命・財産に多大な影響が予測される用途に関しましては、商品を設置または使用される側で、二重、三重の安全装置を設置してください。

修理サービス内容

- ◆ ご購入品および納入品の価格には、技術者派遣などの修理サービス費用は含まれておりません。ご要望により、別途ご相談させていただきます。

修理サービスの適用範囲

- ◆ 以上の内容は、日本国内での取引および使用を前提とするものです。日本以外での取引および使用に関しては、弊社に別途ご相談ください。

もくじ

1 製品の概要	9
1.1 特長.....	9
1.2 本カメラの応用事例.....	9
1.3 イメージセンサ.....	11
1.4 性能・仕様.....	11
2 カメラの設置と光学系の取付け	15
2.1 カメラの設置.....	15
2.2 カメラの固定.....	15
2.3 光学系の取付け.....	19
3 ハードウェア	20
3.1 カメラの接続.....	20
3.2 入出力.....	22
3.3 コネクタ・ピンアサイン.....	22
3.4 電源の供給.....	23
3.4.1 電源コネクタからの供給方法.....	23
3.4.2 CXP1 コネクタ (PoCXP) からの供給方法.....	24
3.5 インディケータの状態.....	24
4 カメラの制御	25
4.1 カメラ制御の流れ.....	25
4.1.1 GenICam の概要.....	25
4.1.2 カメラ制御レジスタ.....	25
4.2 レジスタ方式の詳細.....	28
4.2.1 カテゴリ.....	30
4.2.2 Device Control.....	31
4.2.2.1 カメラ温度選択の設定.....	31
4.2.2.2 カメラ温度表示.....	31
4.2.3 Image Format Control.....	32
4.2.3.1 スキャン方向の設定.....	32
4.2.3.2 ピクセルフォーマットの設定.....	32
4.2.3.3 テストパターン表示.....	32
4.2.4 Acquisition Control.....	33
4.2.4.1 ラインレートの設定.....	33

4.2.4.2	トリガ種別選択	33
4.2.4.3	外部トリガ許可の設定	34
4.2.4.4	露光モードの設定	34
4.2.4.5	プログラマブル露光時間の設定	35
4.2.5	Analog Control	35
4.2.5.1	アナログゲインの設定	35
4.2.5.2	ゲイン種別選択	36
4.2.5.3	デジタルゲインの設定	36
4.2.5.4	オフセット種別選択	36
4.2.5.5	デジタルオフセットの設定	37
4.2.5.6	ガンマ補正の設定	37
4.2.6	User Set Control	38
4.2.6.1	メモリ選択の設定	38
4.2.6.2	メモリロード (フラッシュメモリからのカメラ設定の読み出し)	38
4.2.6.3	メモリ保存 (フラッシュメモリへのカメラ設定の保存)	38
4.2.7	Transport Layer Control - CoaXPress	39
4.2.7.1	CXP リンクの設定	39
4.2.8	NED additional features	40
4.2.8.1	画素補正の設定	40
4.2.8.2	画素補正ターゲット値の設定	40
4.2.8.3	白画素補正データ取込	41
4.2.8.4	黒画素補正データ取込	41
4.3	FPGA でのデジタル処理の流れ	42
4.4	スタートアップ (起動時の動作)	42
4.5	設定の保存と読み込み	43
4.6	XML ファイル	44
4.7	ビデオ出力フォーマット	44
4.8	露光モードとタイミング	45
4.8.1	フリーラン露光モード (外部トリガ許可が無効時)	45
4.8.2	外部トリガ (Timed) 露光モード	46
4.8.3	外部トリガ (TriggerWidth) 露光モード	47
4.9	オフセットの設定	48
4.10	ゲインの設定	49
4.11	画素(ビット)補正機能	51
4.11.1	画素(ビット)補正関連レジスタ	52
4.11.2	白画素・黒画素補正データ取込み条件	52
4.12	テストパターン	53

5 センサの取扱	56
5.1 静電気とセンサ.....	56
5.2 ほこり・油・傷対策.....	56
5.3 センサの清掃.....	56
6 トラブルシューティング	57
6.1 撮像できない.....	57
6.2 画像にノイズがはいる.....	59
6.3 カメラが熱くなる.....	61
7 その他	62
7.1 お願い.....	62
7.2 お問い合わせ先.....	62
7.3 保証とアフターサービス.....	63
7.3.1 保証書（別添付）.....	63
7.3.2 修理を依頼されるとき.....	63

1 製品の概要

1.1 特長

- 7 μ m8192/6144/4096 画素のモノクロラインセンサ使用
- 最高ラインレートは 76.923KHz
- ビット間のばらつき・シェーディングの補正が可能
- CoaXPress IF Ver1.1.1に対応
- CXP-3(3.125Gbps) X1 or X2 でケーブル長約 100m
CXP-5(5.000Gbps) X1 or X2 でケーブル長約 40m
- * 出荷時は CXP-3X1 に設定
- 操作電源は単一の外部電源 12~15V あるいは、PoCXP が可能

1.2 本カメラの応用事例

- 透過基板検査・基板検査用
- 高速移動体の外観検査用
- FPD 関連の外観検査用
- ガラス・シート状対象物の外観検査用
- 基板外観検査用
- ITS 関連応用
- 屋外監視カメラ用

プリント基板の外観検査装置の一例を下図に示します。

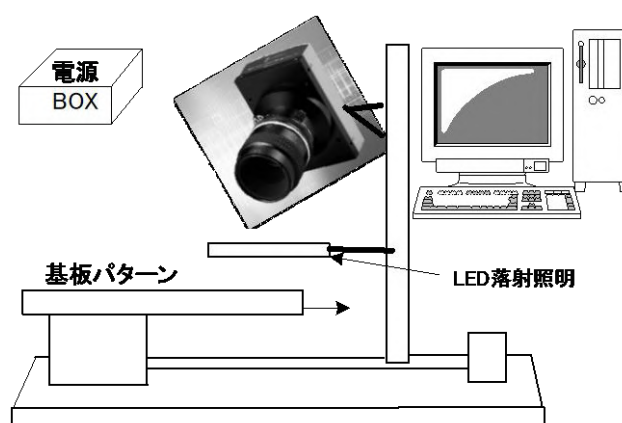


図 1-2-1 プリント基板の外観検査装置

対象物仕様

COB 基板、BGA 基板、MCM 基板

性能

1. 最大基板サイズ 100mm × 200mm
2. 分解能 10 μ m
3. 検査タクト 30 秒以下

装置仕様

1. カメラ ラインスキャンカメラ
2. コントローラー パソコンシステム 専用ソフト
3. 装置寸法 長さ 930mm、奥行き 500mm、高さ 500mm

適用分野

フィルム基板のパターン検査

1.3 イメージセンサ

このカメラは最大ラインレート 76.923KHz の CMOS センサを採用し、高感度かつ高品位な画像を取得できます。

画素サイズは $7\mu\text{m} \times 7\mu\text{m}$ です。

RMSL8K76CP は 8192 画素のデータを、RMSL6K76CP は 6144 画素のデータを、RMSL4K76CP は 4096 画素のデータを、CoaXPress インターフェイスで出力します。

1.4 性能・仕様

カメラの性能を表 1-4-1 に示します。特に断りがない場合は、カメラを最短スキャンレートで動作させた場合のデータを示しています。

表 1-4-1 性能仕様表

項目	仕様		
	RMSL8K76CP	RMSL6K76CP	RMSL4K76CP
画素数	8192	6144	4096
画素サイズ H x V (μm)	7 x 7		
素子長 (mm)	57.344	43.008	28.672
分光感度 (nm)	400~1000 ※ ビーク 625 (図 1-4-1 参照)		
最高ラインレート (kHz) / (μs)	76.923 / 13.00 (表 1-4-3 参照)		
飽和露光量 (lx·s) typ	0.071 [ミニマムゲイン・画素補正初期値・昼光色蛍光灯]		
感度 (typ) [ミニマムゲイン・画素補正初期値・昼光色蛍光灯] ※ 可視範囲 (400~700nm)	100 (V/[lx·s]) ※アナログ 5V 出力換算値		
ゲイン調整レンジ ※アナログアンプ + デジタル	アナログアンプ : x1 ~ x10 (8STEP) デジタル : x1 ~ x2 (512STEP)		
オフセット調整レンジ ※デジタル	デジタル : -127 ~ 127 (0.5DN/STEP: 8bit) -127 ~ 127 (2.0DN/STEP: 10bit)		
FPN (Fixed Pattern Noise)	Typ 5 DN (補正なし、ミニマムゲイン) 2 DN (補正あり、ミニマムゲイン)		
PRNU (Photo Response Non Uniformity)	Typ 20 DN (補正なし、ミニマムゲイン) 4 DN (補正あり、ミニマムゲイン)		
ランダムノイズ	Typ 20DN (ビーク 値 : ミニマムゲイン)		

項目		仕様		
		RMSL8K76CP	RMSL6K76CP	RMSL4K76CP
コネクタ	CXP1/CXP2	75Ω DIN 1.0/2.3 type		
	電源	ヒロセ : HR10G (6Pin)		
レンズマウント		M72 x 0.75 ねじ	ニコンF マウント	
使用温度範囲 (°C) ※結露なきこと		0~50		
電源電圧 (V)	外部	DC12~15[±5%]		
	PoCXP	DC18.5~26		
消費電流 (mA)	typ	750	650	550
外形寸法 WxHxD (mm)		80 x 120 x 71.2	80 x 120 x 85.9	
質量 (g)	※本体のみ	610	600	600
付加機能		1. シェーディング補正 2. ゲイン・オフセット・10/8bit 任意データ変換 3. テストパターン出力 ON/OFF 4. プログラマブル露光制御 5. スキャン方向切り替え 6. カメラ内部温度表示機能		

注 1) DN : デジタル値 (10bit : 0-1023) を表します。

注 2) 測定は常温で行ったものです。

表 1-4-2 CoaXPress IF仕様表

CoaXPress IF仕様	
Ver.	1.1.1 *1
Bit Rate (Gbps) (ビットレート)	3.125 or 5.000 (CXP-3 or CXP-5)
Discovery Rate (Gbps) (ディスカバリレート)	3.125 (CXP-3)
Number of connections (コネクション数)	1 or 2 (ケーブル1本 or ケーブル2本)
PoCXP (ケーブルからの電源重畳)	コネクタ CXP1 側のみ対応
Pixel Format (ピクセルフォーマット)	Mono8 or Mono10 (白黒8ビット or 白黒10ビット)
Image Type (画像タイプ)	Rectangular (矩形画像)
Low Speed connection Trigger (トリガパケット)	フレームグラバ (Host) → カメラ (Device) ジッタ±8ns・最小パルス幅 2.9us *2

*1 CoaXPress Ver1.1.1 対応のフレームグラバボードをご使用ください。

インディケータの状態 (P24 参照) が CoaXPress Ver1.0 と異なります。

*2 ジッタ及び、最小パルス幅はフレームグラバボードによっても異なります。

表 1-4-3 CxpLinkConfiguration と最高ラインレートと最大ケーブル長

CxpLink Configuration	最高ラインレート (KHz)			最大ケーブル長 (m)
	RMSL8K76CP	RMSL6K76CP	RMSL4K76CP	
CXP-3X1 (工場出荷時)	25.000	33.333	50.000	100
CXP-5X1	38.461	50.000	76.923	40
CXP-3X2	50.000	66.666	76.923	100
CXP-5X2	76.923	76.923		40

* 工場出荷設定値をメモリロードすると、CxpLinkConfiguration は CXP-3X1 に設定されます。使用する最高ラインレートに合わせて、CxpLinkConfiguration の再設定及び、メモリ保存が必要です。(4.2.7.1 CXP リンク設定及び 4.2.6 User Set Control 参照)

最大ケーブル長は、目安です。

量子効率 は以下のとおりです。

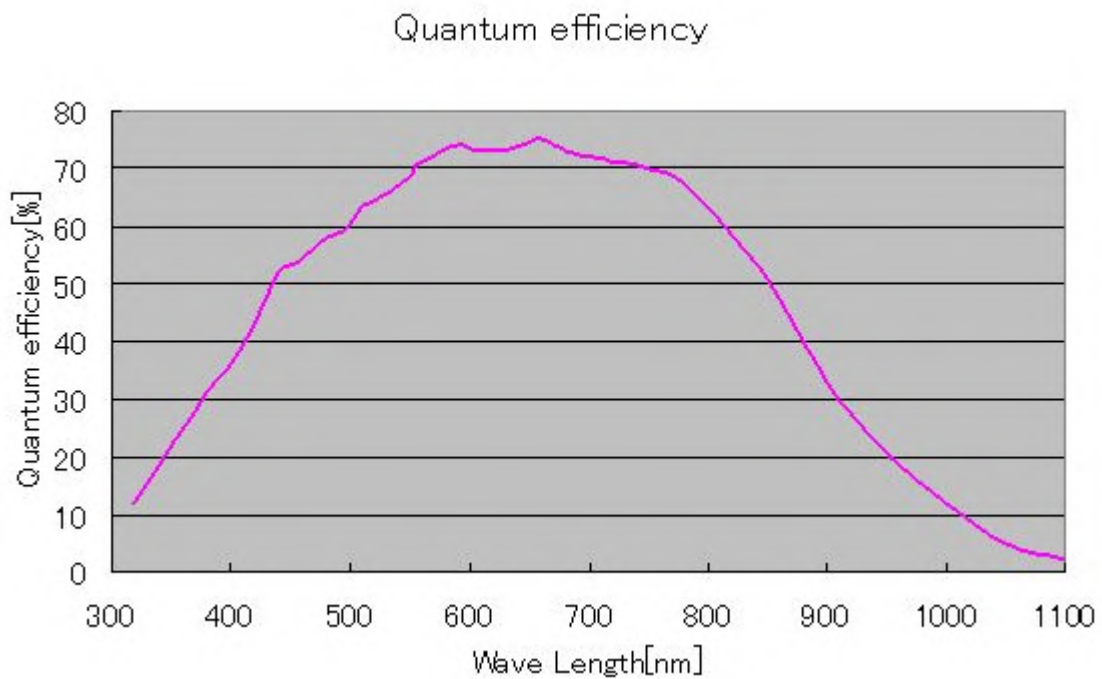


図 1-4-1 量子効率

2 カメラの設置と光学系の取付け

2.1 カメラの設置

カメラの設置はフロントパネルのM4ねじ穴か、三脚ねじを使用してください。また、オプションの専用付属品のベースホルダを使っていただくことも可能です。

2.2 カメラの固定

- フロントパネル M4 取付ねじ穴（前面 4 ヶ所、側面 8 ヶ所）にて固定することができます。
- フロントパネル 1/4"-20UNC 取付ねじ穴（三脚ねじ、側面 1 ヶ所）にて固定することができます。
- ◆ フロントパネル M4 取付ねじ穴（前面 4 ヶ所、側面 8 ヶ所）で固定される場合は、カメラ本体に入り込むねじ部の長さを、前面の場合 8mm 以下、側面の場合 6mm 以下としてください。
- ◆ X、Y 軸方向や仰角等の調整機構はありません。必要に応じて調整機構をご用意ください。

カメラの外形寸法図は以下の通りです。

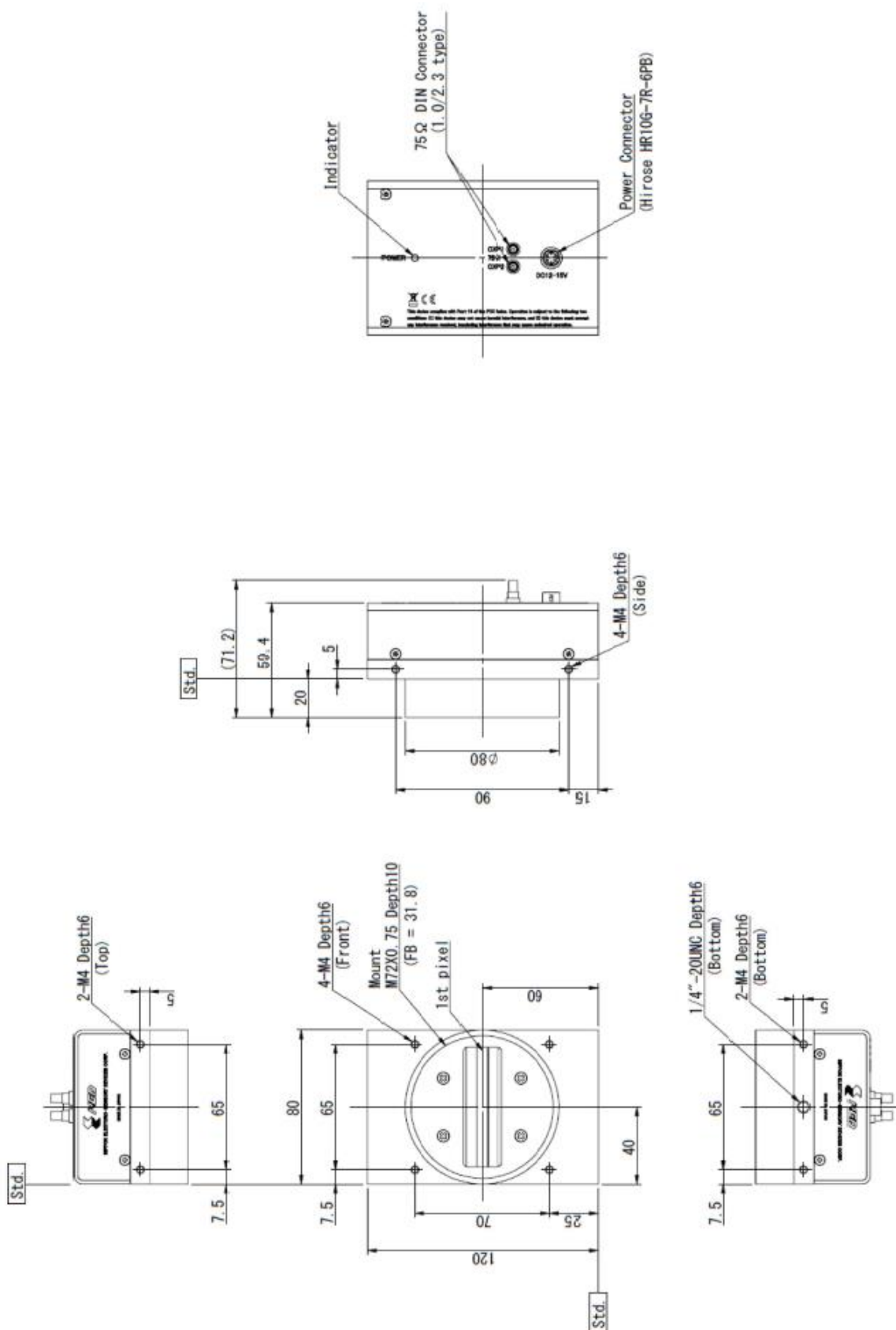


図 2-2-1 RMSL8K76CP 外形寸法図

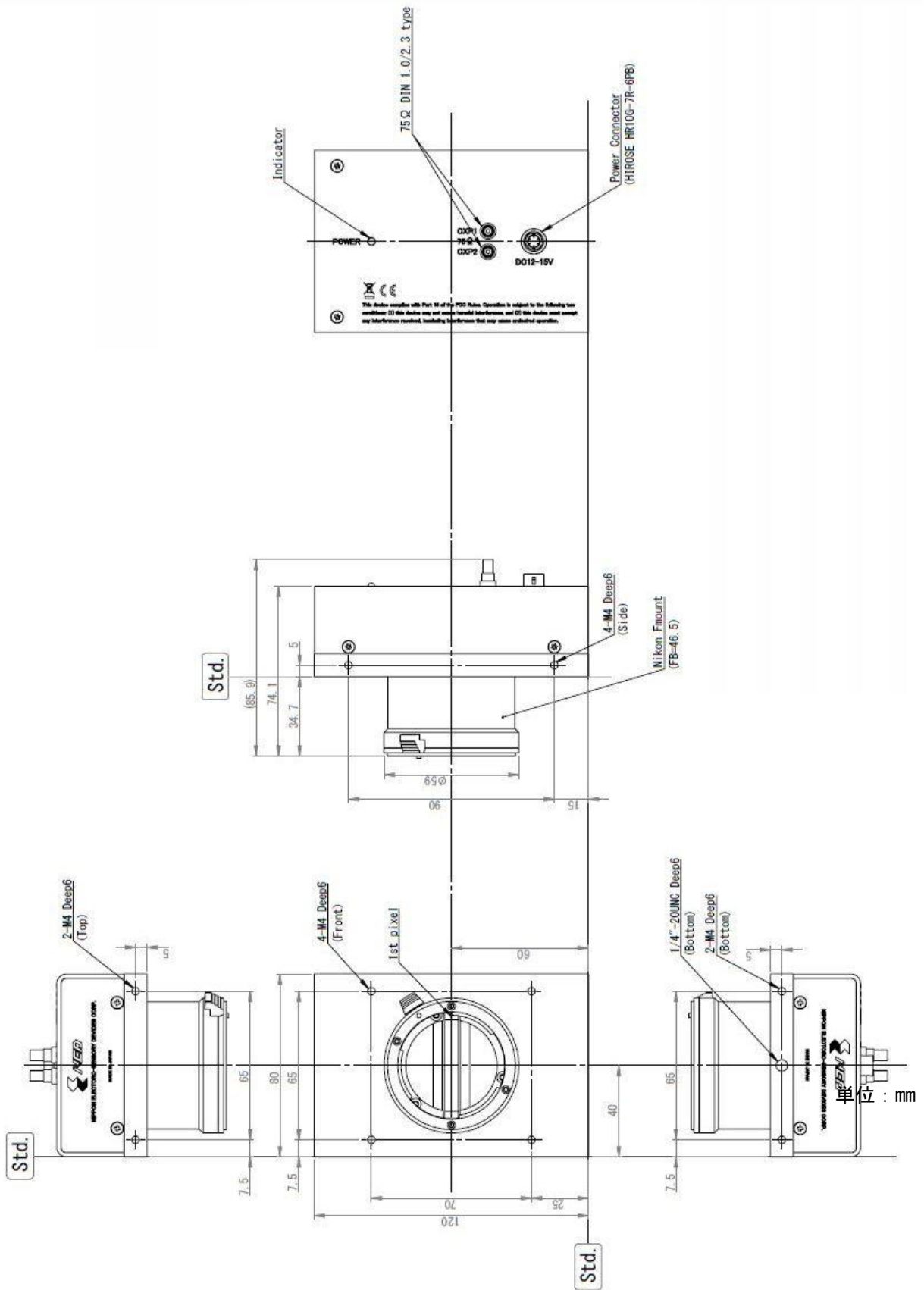


图 2-2-2 RMSL6K76CP 外形尺寸图

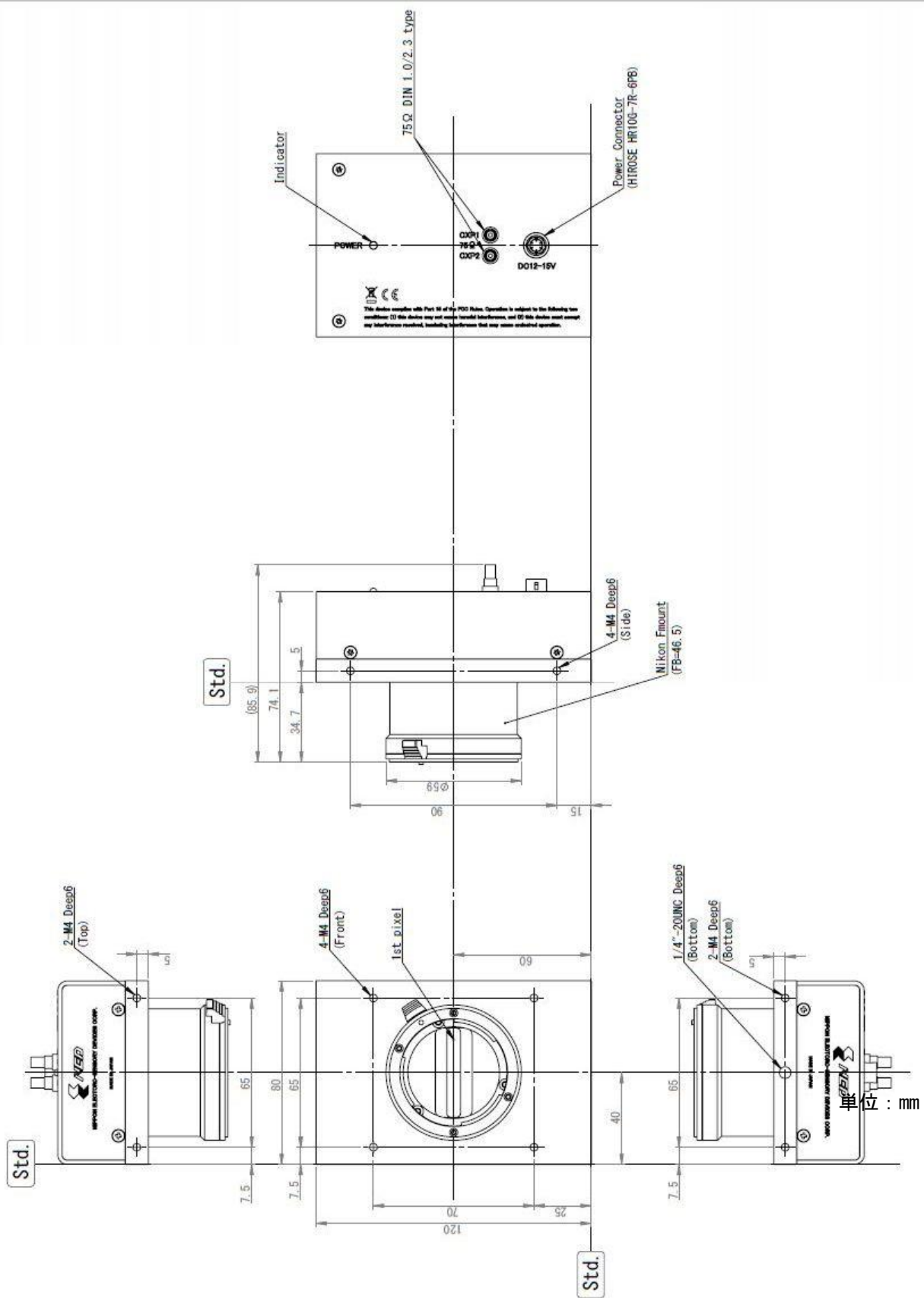


图 2-2-3 RMSL4K76CP 外形尺寸图

2.3 光学系の取付け

RMSL8K76CP には M72 x 0.75 ねじのマウントを用意しています。RMSL6K76CP と RMSL4K76CP にはニコン F マウントを用意しております。お客様の望まれる画像を撮るのに必要な光源の光量・波長などは、用途によって異なります。これらを決める要因は、撮影される対象物の物性・速さ・分光特性、露光時間、光源の特性、取り込みシステムの仕様などを含みます。

適切な画像を得るために重要なのは露光量（露光時間×光量）です。お客様がどの要素を重視するか十分ご検討の上、露光時間と光量を決めてください。

各種光源の特徴を記しますので、光源を選定する場合の参考にしてください。

- LED 他の光源と比較すると安価で、均一な分布を持ち、長寿命です。しかしながら光量が低いため、高感度なカメラが必要となります。
- ハロゲン光源 赤外光は強いですが、青の光量は少ない特性を持ちます。
- ファイバー光源 ハロゲン光源と同じく、青が弱い特性を持ちます。
- メタルハライド光源は非常に明るくできますが寿命が短いのが欠点です。一般に光量が小さいほど光源の寿命は長くなります。

CMOS イメージセンサは、赤外光に高い感度を有しています。赤外光による画像の劣化が問題となる場合は、昼光色蛍光灯など赤外成分を含まない光源の使用を推奨しますが、ハロゲンランプなどの光源を使用する場合は赤外カットフィルタを併用してください。

3 ハードウェア

3.1 カメラの接続

カメラを使用するためには、以下の手順が必要です。

- (1) CoaXPress ケーブル(規格認証品)でカメラとフレームグラバボード (画像取込ボード) をつないでください。
- ◆ カメラとフレームグラバボードの接続は、CoaXPress ケーブル(規格認証品)を使用します。カメラに設定 (CxpLinkConfiguration) した速度 (CXP-3 or CXP-5) に対応した CoaXPress ケーブルを必要数 (1 本 or 2 本) 使用してください。
また、CoaXPress ケーブルを 2 本使用する場合は、同じメーカー、同じ長さの CoaXPress ケーブルを使ってください。
また、CoaXPress ケーブルのコネクタには BNC と DIN の 2 種類あります。
使用する、カメラとフレームグラバボードに合わせ選定ください。

- (2) 電源に接続してください。(PoCXP 未使用時)

カメラとカメラ用電源の接続は、電源ケーブルを使用します。電源ケーブルのプラグ側をカメラに接続し、未処理側をカメラ用電源に接続してください。これ以外に、パソコン、フレームグラバボード、撮像用レンズ、レンズマウント、光源、エンコーダ等が必要となります。目的に適したものを選択し、適切に設定してください。

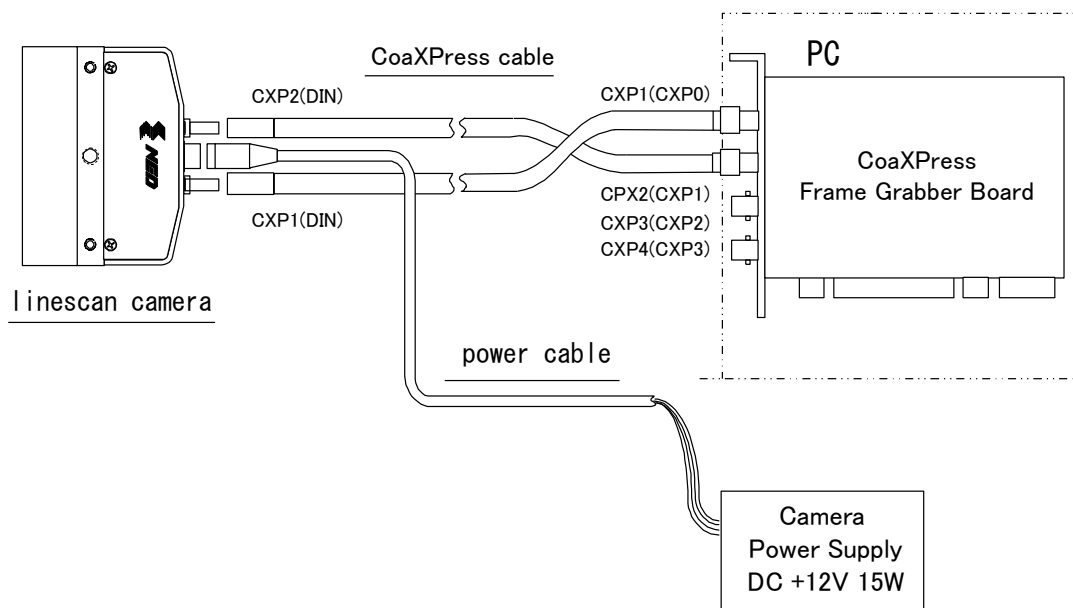


図 3-1-1 カメラとフレームグラバボードと電源の接続図

<CoaXPress ケーブルを選択する時の注意>

CoaXPress の規格では、同軸ケーブル及び DIN・BNC コネクタは 75Ω です。
また、規格では使用する速度毎にケーブルの最大減衰量が規定されています。
ケーブルの最大減衰量は、ケーブルの太さ及び長さ、さらにメーカー及び製品毎にも大きく異なります。

よって、必ず規格認証品の CoaXPress ケーブルを使用してください。
CoaXPress ケーブルは認証製品毎に、使用可能な速度及び最大ケーブル長が
明記・保証されています。
規格認証製品は、以下の URL からご確認出来ます。

<http://jiia.org/cxp/>

CoaXPress ケーブルの仕様（太さ・速度・最大ケーブル長等）は、規格認証製品毎
に異なりますので、詳細は各ケーブルメーカーにお問い合わせください。

規格認証品以外の同軸ケーブル及び自作ケーブルでは動作保証出来ませんのでご
注意ください。

3.2 入出力

コネクタの配置は以下の通りです。

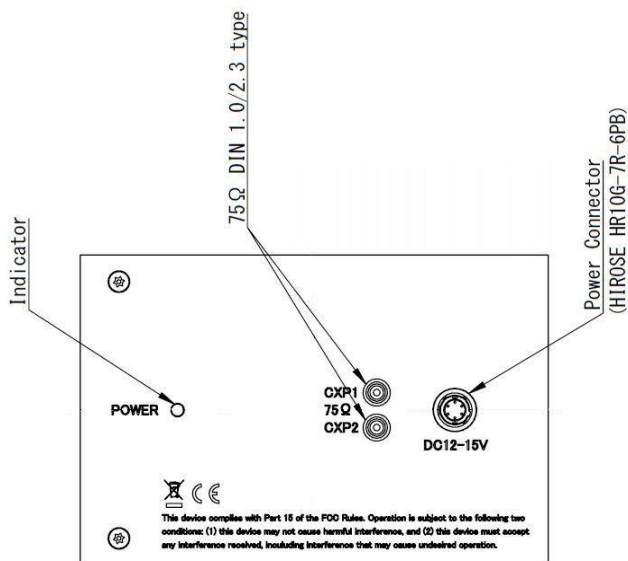


図 3-2-1 コネクタの配置 (DIN コネクタ、電源コネクタ)

3.3 コネクタ・ピンアサイン

このカメラは電源供給用に 6 ピン丸型プッシュプルロックコネクタを使用しています。適合ケーブル (適合プラグ) は、DGPSH-10 (ヒロセ : HR10A-7P-6S 付)

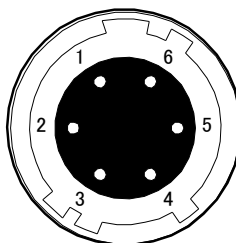


図 3-3-1 カメラ側電源コネクタ (ヒロセ : HR10G-7R-6PB)

表 3-3-1 電源コネクタのピンアサイン

No	NAME	ケーブル色
1	12~15V	白
2	12~15V	赤
3	12~15V	—
4	GND	緑
5	GND	黒
6	GND	—

Notes:

- 1) 表中のケーブル色は適合ケーブル DGPSH-10 を示す。

3.4 電源の供給

本カメラは、電源コネクタからと、CXP1 コネクタ (PoCXP) からの2種類の電源供給が可能です。

安全の為、電源コネクタ使用時は、フレームグラバボードの PoCXP 用の電源コネクタは取り外してください。

3.4.1 電源コネクタからの供給方法

電源コネクタには単一直流電圧 (DC+12~+15V) の供給が必要です。DC+12~+15V 電源を供給するとインディケータ (橙 LED) が点灯し、数秒後に緑点灯に変わり、動作状態になります。

Notes:

- 1) 電源の容量は突入電流等も考慮に入れ少し余裕のある物を選定する事をおすすめ致します。
(RMSL8K76CP は 15W、RMSL6K76CP は 12W、RMSL4K76CP は 10W 以上推奨)
- 2) 通電中にコネクタが外れないようにケーブルのプラグをロックするまでしっかりと差し込んでください。
- 3) 雷の発生が多い地域で本製品を使用する場合、カメラに供給する電源ラインに雷サージ対策を行ってください。
- 4) 誤動作や故障の原因となるため、カメラの電源や接地は大きな電磁波を発生する機器 (例: インバータ制御モーター) と共用しないでください。
また、その機器とカメラとは離し信号ケーブルや電源ケーブルが隣り合わないようしてください。
- 5) 電源を供給しても点灯しない場合は、すぐに電源をお切りのうえ、配線および供給電源の電圧、容量等に問題がないかご確認ください。
- 6) 電源ケーブルのシールド処理は電源側の GND に接続することを推奨致します。

3.4.2 CXP1 コネクタ (PoCXP) からの供給方法

フレームグラバボードの PoCXP 用の電源コネクタを接続してください。
電源コネクタの種類は、フレームグラバメーカーにより異なります。コネクタの種類・供給電圧等、詳細はフレームグラバボードの説明書を参照ください。

PC 電源をオンすると、CoaXPress ケーブルを介し電源が供給されます。

Notes:

1) カメラの電源コネクタには、電源 (DC+12~+15V) を供給しないでください。

3.5 インディケータの状態

CoaXPress の Ver. によりインディケータの状態は異なります。本カメラは、CoaXPress Ver. 1.1.1 になります。

表 3-5-1 インディケータの状態

インディケータの状態	CoaXPress Ver.	
	1.1.1 (新)	1.0 (旧)
カメラ電源オフ	消灯	
カメラ電源オンシステム起動中	橙点灯	
デバイスディスクカバリ中	橙 0.5s 点灯	
ラインレート > 約 1.6s *1	橙点滅	
Low Speed connection 切断 (ケーブル未接続)	赤点滅	赤点灯
コントロールコマンド未処理 (システムダウン) *2	赤点灯	赤点滅
画像パケット送信中 (Acquisition Start=1)	緑点滅	緑点灯
画像パケット送信なし (Acquisition Stop=1)	緑点灯	緑点滅

*1 ラインレートが 1.6s 付近ですと、橙と緑が交互に点灯する場合があります。

*2 カメラ電源を再投入してください。

4 カメラの制御

カメラの機能は、カメラ制御レジスタをフレームグラバボードより制御し行います。本カメラは GenICam に対応している為、GenICam に対応のフレームグラバボードと組み合わせ簡単に制御することができます。カメラ制御には、フレームグラバボードに付属されているカメラ制御ソフトを使用してください。

カメラの設定は一度設定・保存を行えば、以後カメラは適切に動作します。

4.1 カメラ制御の流れ

4.1.1 GenICam の概要

- カメラ制御レジスタ情報はカメラ内部に保存されています。(XML ファイル)
- フレームグラバボードはデバイスディスカバリ時に XML ファイルを読み込み、レジスタ情報を取得します。
- デバイスディスカバリ後カメラ制御が可能になります。
デバイスディスカバリの方法は、フレームグラバボードの説明書を参照ください。

4.1.2 カメラ制御レジスタ

本カメラの各種設定(フィーチャ)は GenICam SFNC 2.3 に対応しています。フレームグラバボード付属のソフトにて設定してください。

本カメラで使用するコマンドは表 4-1-2-1 の通りです。

表 4-1-2-1 カメラ制御レジスタ一覧表

制御項目	フィーチャ名	RW	VAL 〈工場出荷設定〉	制御内容
<i>カテゴリ: Device Control</i>				
ユーザ ID	DeviceUserID	RW	(ASCII 文字列) 〈0x00〉	ユーザ任意の ASCII 文字列 最大 15 文字+終端 NULL 文字(0x00)
カメラ温度選択	DeviceTemperatureSelector	RW	Mainboard / Subboard	温度測定場所を選択 Mainboard : FPGA 周囲 Subboard : FPGA 内部
カメラ温度表示	DeviceTemperature	R		カメラ内部の温度を表示 (°C) Mainboard : MAX75 °C Subboard : MAX90 °C

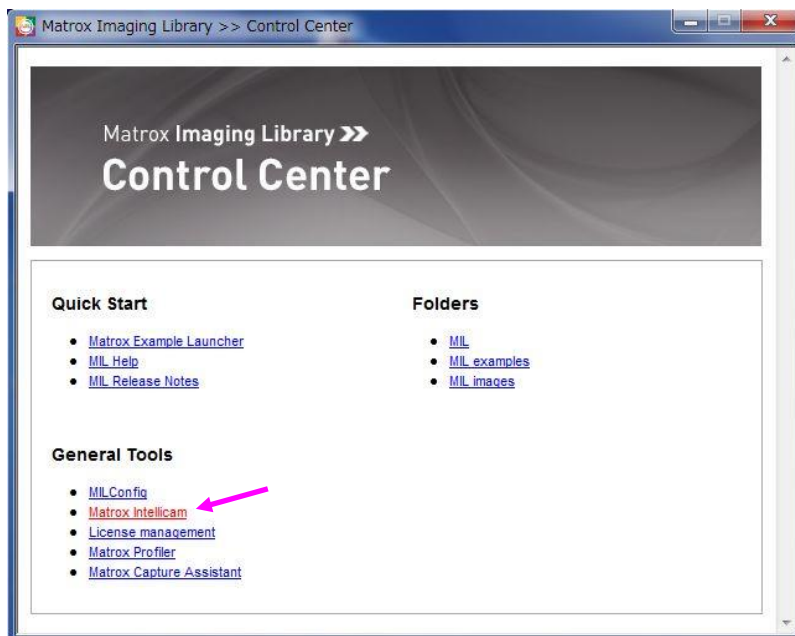
カテゴリ:Image Format Control				
スキャン方向	ReverseX	RW	True / False <False>	True : 反転 False : 正方向
ピクセルフォーマット	PixelFormat	RW	Mono8 / Mono10 <Mono8>	Mono8 : 白黒 8ビット Mono10 : 白黒 10ビット
テストパターン表示	TestPattern	RW	Off/ GreyHorizontalRamp <Off>	Off : オフ GreyHorizontalRamp : オン
カテゴリ:Acquisition Control				
ラインレート	AcquisitionLineRate	RW	300~76923 <8183>	Hz 単位
トリガ種別選択	TriggerSelector	RW	ExposureStart	設定変更不要
外部トリガ許可	TriggerMode	RW	Off / On <Off>	Off : 外部トリガ無効 On : 外部トリガ有効
露光モード	ExposureMode	RW	Timed / TriggerWidth <Timed>	Timed : ExposureTime の値 TriggerWidth: 外部トリガ“H”時間
プログラマブル 露光時間	ExposureTime	RW	1.0~3331.0 <120.0>	μ sec 単位 0.2 / step
カテゴリ:Analog Control				
アナログゲイン	NED_AnalogGain	RW	x100~x1000 <x100>	x1 / x2 / x3 / x4 / x5 / x6 / x8 / x10
ゲイン種別選択	GainSelector	RW	All	設定変更不要
デジタルゲイン	Gain	RW	1.000000~2.000000 <1.000000>	x1~x2 0.001957 / step
オフセット種別選択	BlackLevelSelector	RW	All	設定変更不要
デジタルオフセット	BlackLevel	RW	-127~127 <0>	-63...63(0.5DN/step at 8bit) -254...254(2DN/step at 10bit)
ガンマ補正	Gamma	RW	0.250~4.000 <1.000>	γ 値 0.001 / step
カテゴリ:User Set Control				
メモリ選択	UserSetSelector	RW	Default/ UserSet1	メモリ選択 Default : 工場出荷設定/ UserSet1 : ユーザ設定 1
メモリロード	UserSetLoad	W		メモリ選択した設定値を読み出し
メモリ保存	UserSetSave	W		現在のカメラ設定値を選択した メモリに保存 (UserSet1 にのみ有効)

カテゴリ: Transport Layer Control - CoaXPress				
CXP リンク設定	CxpLinkConfiguration	RW	CXP3_X1/ CXP5_X1/ CXP3_X2/ CXP5_X2 (RMSL4K76CP は無) <CXP3_X1>	転送速度および ケーブル数
カテゴリ: NED additional features				
画素補正設定	NED_FFCMode	RW	Disable/ Factory white/ User white/ User black+Factory white/ User black+User white <Factory white>	補正 OFF 工場黒補正+工場白補正 工場黒補正+任意白補正 任意黒補正+工場白補正 任意黒補正+任意白補正
画素補正ターゲット値	NED_PRNUTarget	RW	1~1023 <800>	補正データターゲット値 (10bit DN)
白画素補正データ取込	NED_PRNUCalibration	W		任意の白補正データを取得し メモリに保存
黒画素補正データ取込	NED_FPNCalibration	W		任意の黒補正データを取得し メモリに保存

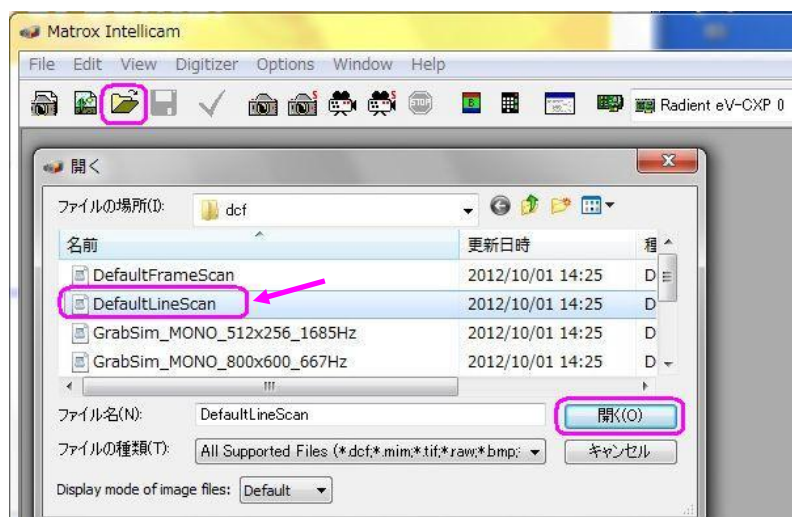
4.2 レジスタ方式の詳細

フレームグラバボードが Matrox Radiant eV-CXP の場合を例に説明します。

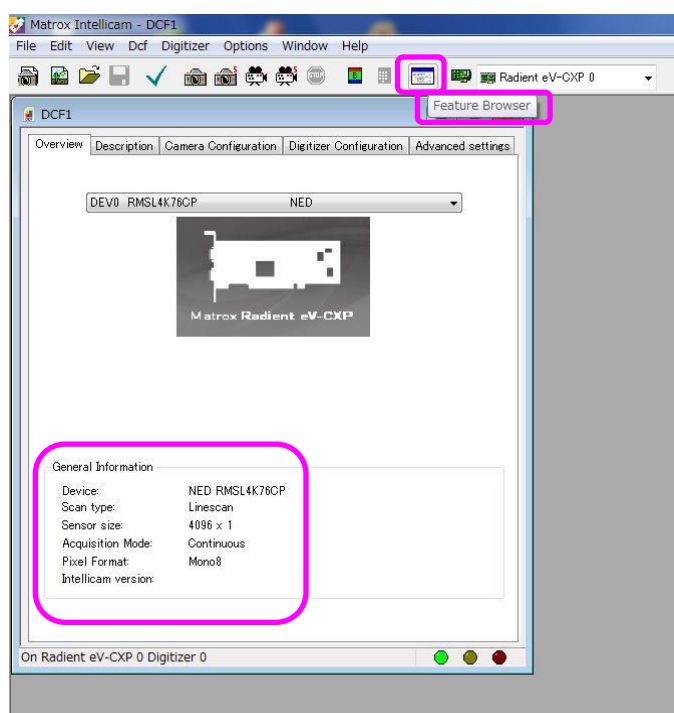
① Matrox Imaging Library の Intellicam を起動させます。



② Intellicam のメニュー“開く”で dcf ファイル“DefaultLineScan”を開きます。

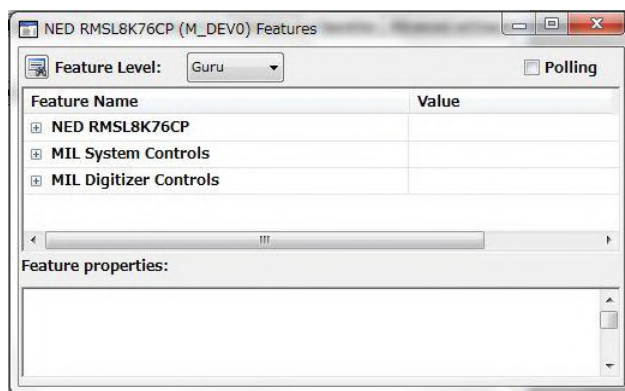


- ③ General Information の内容が表示されればデバイスディスカバリは成功です。



- ④ Intellicam のメニューから “Feature Browser” を開きます。

- ⑤ Features の画面でカメラ制御を行います。

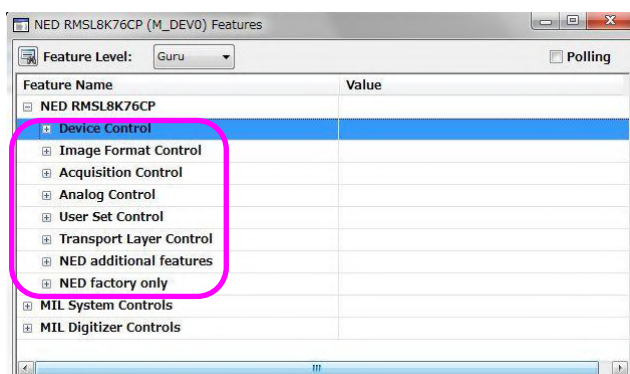


- ◆ Matrox Radient eV-CXP を使用した場合のウィンドウ画面のキャプチャーを各レジストリの設定項目で示しています。ドロップダウンリスト、スピンドタンで設定できます。

4.2.1 カテゴリ

カメラ制御レジスタは、以下の8つのカテゴリがあります。

1. Device Control (デバイス温度)
2. Image Format Control (画像関連)
3. Acquisition Control (露光・トリガ関連)
4. Analog Control (ゲイン・オフセット関連)
5. User Set Control (カメラ設定値の読出し・保存)
6. Transport Layer Control (CoaXPress IF 関連)
7. NED additional features (画素補正関連)
8. NED factory only (未使用)



4.2.2 Device Control

4.2.2.1 カメラ温度選択の設定

DeviceTemperatureに表示する、カメラ内部温度の場所を選択します。

- ・レジスタ名 DeviceTemperatureSelector
 - ・設定値 Mainboard / Subboard
- (設定例)

DeviceTemperatureSelector : Subboard

Feature Name	Value
[-] NED RMSL8K76CP	
[-] Device Control	
Device Scan Type	Linescan
Device Vendor Name	NED
Device Model Name	RMSL8K76CP
Device Manufacturer Info	8192 pixels grayscale
Device Version	1.22_0x0106;1.09_0x0100
Device Serial Number	3757
Device User ID	
NED_DeviceFirmwareBootID	0x11480000
Device SFNC Version Major	2
Device SFNC Version Minor	3
Device SFNC Version Sub Minor	0
[-] Device Manifest Entry Selector	0
Device TL Type	CoaXPress
Device TL Version Major	1
Device TL Version Minor	1
Device Registers Endianness	Big
[-] Device Temperature Selector	Mainboard
Device Temperature	Mainboard
	Subboard

Feature properties:

4.2.2.2 カメラ温度表示

DeviceTemperatureSelectorで選択した、カメラ内部温度を表示します。

- ・レジスタ名 DeviceTemperature
 - ・読出値 (°C)
- (設定例)

DeviceTemperatureSelector : Subboard

DeviceTemperature : 53.100

Device Registers Endianness	Big
[-] Device Temperature Selector	Subboard
Device Temperature	53.100
[+] Image Format Control	
[+] Acquisition Control	

* Mainboard は 75°C以下、Subboard は 90°C以下になる様な、環境で使いください。

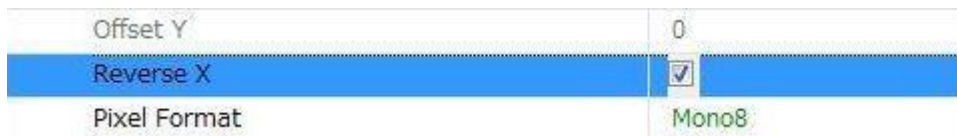
4.2.3 Image Format Control

4.2.3.1 スキャン方向の設定

カメラのスキャン方向を切り替えます。

- ・ レジスタ名 ReverseX
- ・ 設定値 チェック無（正方向） / チェック有（反転）
（設定例）

ReverseX : チェック有(反転読出し)



4.2.3.2 ピクセルフォーマットの設定

モノクロ8bit / モノクロ10bit を切り替えます。

- ・ レジスタ名 PixelFormat
- ・ 設定値 Mono8 / Mono10（モノクロ8bit/10bit切替）
（設定例）

Pixel Format : Mono8 (モノクロ8bit)



4.2.3.3 テストパターン表示

テストパターンと画像データの表示を切り替えます。

- ・ レジスタ名 TestPattern
- ・ 設定値 Off / GreyHorizontalRamp
（設定例）

TestPattern : GreyHorizontalRamp



4.2.4 Acquisition Control

4.2.4.1 ラインレートの設定

カメラのラインレートを設定します。

- ・レジスタ名 AcquisitionLineRate
 - ・設定値 500～76923 (Hz)
- (設定例)

AcquisitionLineRate : 25000 (ラインレートを 25000Hz に設定)



* ラインレート (1/AcquisitionLineRate) の設定は 0.200us ステップです。

(1/AcquisitionLineRate) の値が 200ns で割り切れない場合、実際の設定値は異なります。

例

- ・ 15000Hz に設定した場合、実際の設定値は 15015Hz になります。
- ・ 30000Hz に設定した場合、実際の設定値は 30120Hz になります。

AcquisitionLineRate の設定値を大きくすると、ExposureTime の値が自動変更される場合があります。

値は、おおむね以下の式に沿って設定されます。

$$\text{ExposureTime} \leq (1 / \text{AcquisitionLineRate}) - 2.2 \text{ us}$$

4.2.4.2 トリガ種別選択

カメラのトリガ種類を設定します。

選択できるのは ExposureStart (露光開始トリガ) のみです。

- ・レジスタ名 TriggerSelector
 - ・設定値 ExposureStart
- (設定例)

TriggerSelector : ExposureStart



4.2.4.3 外部トリガ許可の設定

外部トリガの有効・無効を設定します。

外部トリガ使用時は、有効 (On) にしてください。

- ・レジスタ名 TriggerMode
- ・設定値 Off / On (無効 / 有効)

(設定例)

TriggerMode : On



* 本設定を有効にした場合は、フレームグラバボードからカメラへトリガパケットの供給が必要です。

トリガパケットの供給方法の詳細は、各フレームグラバボードの説明書を参照ください。

4.2.4.4 露光モードの設定

カメラの外部トリガ許可設定 (TriggerMode) が有効 (On) 時の、露光モードを設定します。

- ・レジスタ名 ExposureMode
- ・設定値 Timed (露光時間は ExposureTime の設定値)
TriggerWidth (露光時間は外部トリガパルスの“H”時間)

(設定例)

ExposureMode : Timed



4.2.4.5 プログラマブル露光時間の設定

カメラの露光時間を設定します。

TriggerModeが無効 (Off) あるいは、TriggerModeが有効 (On) かつ、ExposureMode が Timed の時、有効です。

- ・レジスタ名 ExposureTime
 - ・設定値 1.000~3331.000 (0.200us step)
- (設定例)

ExposureTime : 1000.000

Exposure Mode	Timed
Exposure Time	1000.000 
⊕ Analog Control	

* ExposureTime の設定値を大きくすると、AcquisitionLineRate の値が自動変更される場合があります。

値は、おおむね以下の式に沿って設定されます。

$$\text{AcquisitionLineRate} \leq 1 / (\text{ExposureTime} + 2.2) \text{ us}$$

4.2.5 Analog Control

4.2.5.1 アナログゲインの設定

カメラのアナログゲインを設定します。×1~×10 を8段階で設定できます。

- ・レジスタ名 NED_AnalogGain
 - ・設定値 X 1.00 ~ X 10.00
- (設定例)

NED_AnalogGain : X 2.00 (アナログゲインを[X 2.00]に設定)

⊖ Analog Control	
NED_AnalogGain	x 1.00(0.0dB) ▼
⊕ Gain Selector	x 1.00(0.0dB)
⊕ Black Level Selector	x 2.00(5.0dB)
Gamma	x 3.00(9.5dB)
	x 4.00(12.0dB)
⊕ User Set Control	x 5.00(14.0dB)
⊕ Transport Layer Control	x 6.00(15.6dB)
⊕ NED additional features	x 8.00(18.1dB)
⊕ NED factory only	x10.00(20.0dB)

4.2.5.2 ゲイン種別選択

選択できるのは All (全ての画素) のみです。

- ・レジスタ名 GainSelector

- ・設定値 All

(設定例)

GainSelector : All



4.2.5.3 デジタルゲインの設定

カメラのデジタルゲインを設定します。×1～×2 を 512 段階で設定できます。

- ・レジスタ名 Gain

- ・設定値 1.000～2.000 (0.001957step)

(設定例)

Gain : 1.327



4.2.5.4 オフセット種別選択

選択できるのは All (全ての画素) のみです。

- ・レジスタ名 BlackLevelSelector

- ・設定値 All

(設定例)

BlackLevelSelector : All



4.2.5.5 デジタルオフセットの設定

カメラのデジタルオフセットを設定します。

-63～+63DN (8bit) / -254～+254DN (10bit) を 512 段階で設定できます。

- ・レジスタ名 BlackLevel
- ・設定値 -127～127 (1step)

(設定例)

BlackLevel :10

Black Level Selector	All	
Black Level	10.000	
Gamma	1.000	

4.2.5.6 ガンマ補正の設定

カメラのガンマ補正を設定します。

- ・レジスタ名 Gamma
- ・設定値 0.250～4.000 (0.001step)

(設定例)

Gain : 0.500

Black Level	10.000	
Gamma	0.500	
User Set Control		

4.2.6 User Set Control

4.2.6.1 メモリ選択の設定

カメラの設定が保存されているメモリを選択設定します。

- ・レジスタ名 UserSetSelector
- ・設定値 Default / UserSet1 (工場出荷設定 / ユーザ設定)
(設定例)
UserSetSelector : Default



4.2.6.2 メモリロード (フラッシュメモリからのカメラ設定の読出し)

UserSetSelector で選択したカメラの設定を読み出し、カメラに反映します。

- ・レジスタ名 UserSetLoad
- ・設定値 Execute()
(設定例)
UserSetSelector : Default (工場出荷設定を選択)
UserSetLoad : Execute() (工場出荷設定を読出し)



4.2.6.3 メモリ保存 (フラッシュメモリへのカメラ設定の保存)

現在のカメラの設定値をユーザ設定メモリに保存します。

- ・レジスタ名 UserSetSave
- ・設定値 Execute()
(設定例)
UserSetSelector : UserSet1 (ユーザ設定を選択)
UserSetSave : Execute() (ユーザ設定に保存)



4.2.7 Transport Layer Control - CoaXPress

4.2.7.1 CXP リンクの設定

CoaXPress IF の転送速度とケーブルの本数を設定します。

- ・ レジスタ名 CxpLinkConfiguration
- ・ 設定値 CXP3_X1 (工場出荷設定)
CXP5_X1
CXP3_X2
CXP5_X2 (RMSL4K76CP は選択不可)

(設定例)

CxpLinkConfiguration : CXP5_X1

[-] Transport Layer Control	
Device Tap Geometry	Geometry_1X_1Y
[-] CoaXPress	
Cxp Link Configuration Preferred	CXP 3 X 1
Cxp Link Configuration	CXP 3 X 1
[+] Cxp Connection Selector	CXP 3 X 1
Cxp Po Cxp Status	CXP 5 X 1
Image1StreamID	CXP 3 X 2
[+] NED additional features	CXP 5 X 2

* 最高ラインレート (76.923KHz) が必要な場合は、以下の様に設定下さい。

RMSL8K76CXP : CXP5_X2

RMSL6K76CXP : CXP5_X2

RMSL4K76CXP : CXP5_X1 or CXP3_X2

CxpLinkConfiguration と最高ラインレートの詳細は、P13 を参照ください。

4.2.8.3 白画素補正データ取込

任意の白画素補正データを取得し、フラッシュメモリに保存します。
アナログゲインの各ステップでそれぞれ1つずつ保存が可能です。

- ・レジスタ名 NED_PRNUCalibration

- ・設定値 Execute()

(設定例)

NED_PRNUCalibration : Execute()

NED_PRNUTarget	800
NED_PRNUCalibration	Execute()
NED_FPNCalibration	Execute()

4.2.8.4 黒画素補正データ取込

任意の黒画素補正データを取得し、フラッシュメモリに保存します。
アナログゲインの各ステップでそれぞれ1つずつ保存が可能です。

- ・レジスタ名 NED_FPNCalibration

- ・設定値 Execute()

(設定例)

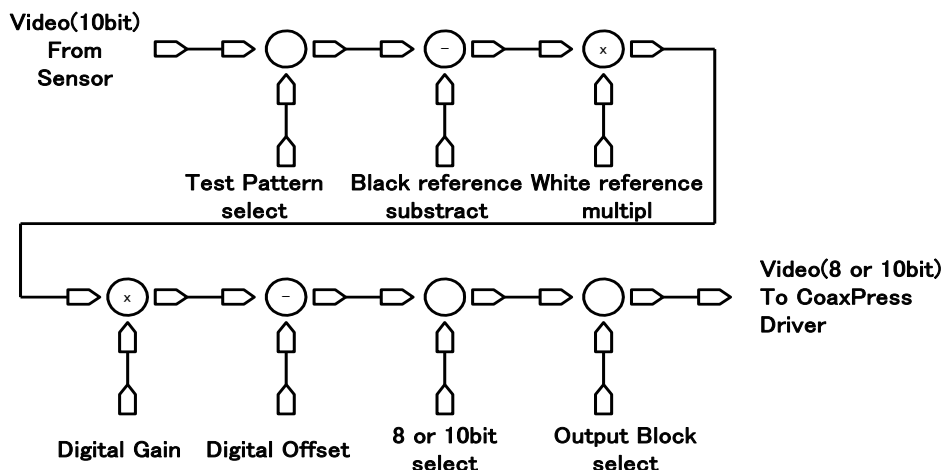
NED_FPNCalibration : Execute()

NED_PRNUCalibration	Execute()
NED_FPNCalibration	Execute()
NED_InternalResultString	OK

4.3 FPGA でのデジタル処理の流れ

以下に FPGA でのデジタル処理の流れを示します。

FPGA Processing block diagram



注: Test Pattern 選択時はBlack、White reference及びDigital Gain、Offsetはスキップします。

図 4-3-1 FPGA のプロセスブロックダイヤグラム

4.4 スタートアップ（起動時の動作）

カメラの電源を投入すると、カメラが画像を出力するまでにいくつかのスタートアップ処理を行います。これには約 8 秒必要です。

スタートアップは次の手順でセットされます。

- ① カメラのハードウェアを初期化します。
- ② 最後にセーブされた設定（ユーザー設定がセーブされているときはユーザー設定、そうでない場合は工場設定）をフラッシュメモリから読み出します。
- ③ フラッシュメモリから読み出した設定値でカメラを設定します。

このシーケンスが終了しますと、カメラは画像取得及び出力の準備が整います。

カメラ制御及び画像を出力するには、グラバボードからデバイスディスカバリを行なう必要があります。

4.5 設定の保存と読み込み

カメラの設定は内蔵メモリ（フラッシュメモリ）に保存され、カメラ起動時及びメモリロード時にフラッシュメモリから読出されます。

- 内蔵メモリの書き換え回数は使用条件によります。電源投入時に内蔵メモリの内容を確認し、もし故障等で設定範囲外の内容になっている場合、工場出荷時のメモリ設定値に自動的に書き換えます。

◆ 内蔵メモリ内容を書き換え中にカメラ供給電源を切るとメモリに保存しているデータの内容が消失します。

メモリ内容を書き換える処理に数秒かかりますので、カメラより応答が返信されるまでにカメラ供給電源を切らないでください。

メモリ内容を書き換えるレジスタは下記になります。

- ◆ メモリ保存 (UserSetSave)
 - ◆ 白画素補正データ取込 (NED_PRNUCalibration)
 - ◆ 黒画素補正データ取込 (NED_FPNCalibration)
- ◆ 外部トリガ許可設定を出荷時設定より変更する場合はフレームグラバボード側よりトリガパケットを供給した状態で行ってください。供給しない又は仕様範囲外のトリガパケットを供給した場合、画像取り込みができなかったり、カメラ設定変更ができなくなります。トリガパケット（外部トリガ）の入力条件は、4.8.2項及び4.8.3項をご参照ください。

表 4-5-1 外部トリガ許可設定とトリガパケット

外部トリガ許可設定(TriggerMode)	トリガパケット (外部トリガ)
Off(出荷時設定)	供給不要
On	供給必要

4.6 XML ファイル

XML ファイルは、4 項で示したカメラ制御レジスタの情報を記述したファイルで、カメラ内部に保存されています。

CoaXPress の規格では、フレームグラバボードに付属のカメラ制御ソフト等にてデバイスディスカバリを行うと自動的に読み込まれ、カメラ制御ソフト内にカメラ制御レジスタが表示されます。(表示されないメーカー様もあります。)

- ◆ 但し、GenICam (ジェニカム) に対応していないフレームグラバボードメーカー様は、この機能はありません。

4.7 ビデオ出力フォーマット

本製品は、8bit 又は 10bit のデジタルデータを CoaXPress IF で出力します。

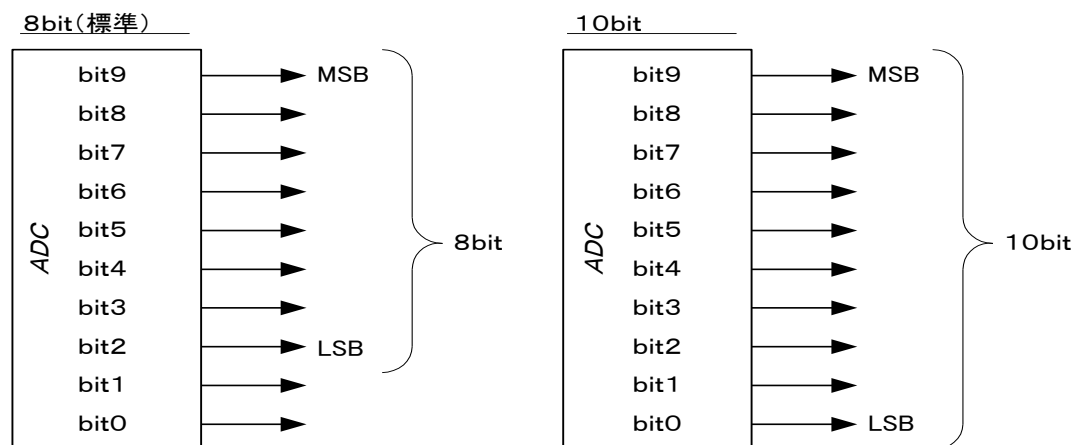


図 4-7-1 デジタルデータのアサイン

- ◆ 本製品の A/D コンバータの分解能は 10bit ですが、8bit 出力時には上位 8bit をビデオデータとして出力しております。

4.8 露光モードとタイミング

本製品は3つの露光モードを持っています。各露光モードの概要とタイミングの説明を行います。

4.8.1 フリーラン露光モード（外部トリガ許可が無効時）

フリーラン露光モードは、外部トリガ許可が無効 (Triggermode : off) の時のモードです。

ラインレート (AcquisitionLineRate) とプログラマブル露光時間 (ExposureTime) をそれぞれ、カメラ制御レジスタに設定します。設定可能なラインレートおよびプログラマブル露光時間は以下のとおりです。

表 4-8-1-1 フリーラン露光モードの時間設定

1/scan	ラインレート (Hz)	300~76923
p	プログラマブル露光時間 (us)	1.000~3331.000 *

* プログラマブル露光時間は 0.200us ステップです。

プログラマブル露光時間 (us) とラインレート (Hz) の関係は以下の通りです。

$$\text{プログラマブル露光時間 (p)} \leq (1 / \text{ラインレート}) - 2.2 \text{ us}$$

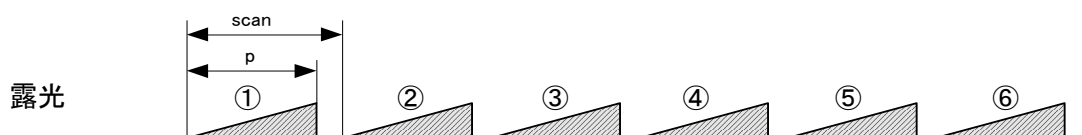


図 4-8-1-1 フリーラン露光モード

4.8.2 外部トリガ (Timed) 露光モード

外部トリガ (Timed) 露光モードは、外部トリガ許可が有効 (Triggermode : on) かつ露光モードが Timed (ExposureMode : Timed) の時のモードです。

ライン周期は外部トリガの周期で設定し、露光開始は外部トリガの立ち上りで設定します。露光時間は、プログラマブル露光時間 (ExposureTime) に設定します。設定可能なライン周期およびプログラマブル露光時間は以下のとおりです。

表 4-8-2-1 外部トリガ (Timed) 露光モードの時間設定

a	外部トリガ High 時間 (us)	≥ 2.9
b	外部トリガ Low 時間 (us)	≥ 2.9
c	ライン周期 (us)	≥ 13.00
p	プログラマブル露光時間 (us)	1.000~3331.000 *

* プログラマブル露光時間は 0.200us ステップです。

プログラマブル露光時間 (us) とライン周期 (us) の関係は以下の通りです。

プログラマブル露光時間 (p) \leq ライン周期 (c) - 2.2 us

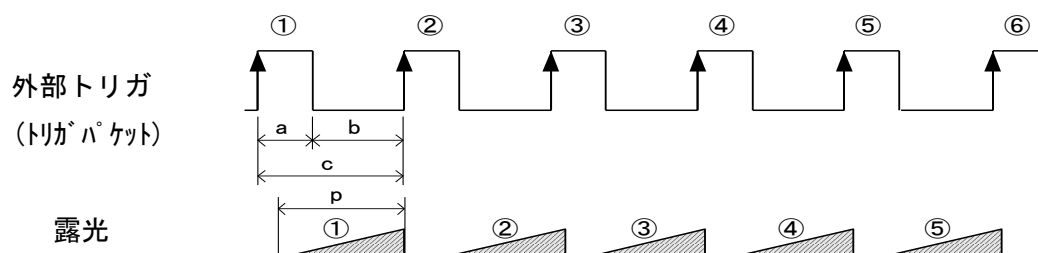


図 4-8-2-1 外部トリガ (Timed) 露光モード

4.8.3 外部トリガ (TriggerWidth) 露光モード

外部トリガ (TriggerWidth) 露光モードは、外部トリガ許可が有効 (Triggermode : on) かつ露光モードが TriggerWidth (ExposureMode : TriggerWidth) の時のモードです。

ライン周期は外部トリガの周期で設定し、露光時間は外部トリガの High の時間で設定します。設定可能なライン周期および露光時間は以下のとおりです。

表 4-8-3-1 外部トリガ (TriggerWidth) 露光モードの時間設定

a	外部トリガ High 時間 (us)	≥ 10.1
b	外部トリガ Low 時間 (us)	≥ 2.9
c	ライン周期 (us)	≥ 13.00

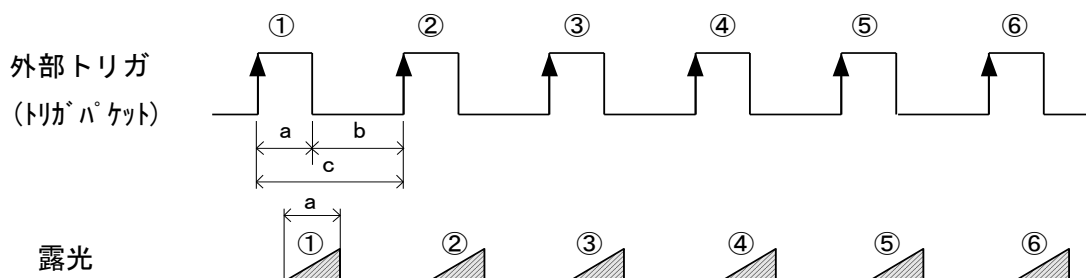


図 4-8-3-1 外部トリガ (TriggerWidth) 露光モード

4.9 オフセットの設定

下図の横軸は入射光量 ($\text{lx}\cdot\text{s}$)、縦軸は出力データを表します。
縦軸の F_s は飽和時出力、 D_d は暗時出力（いずれもデジタル値）を示します。
横軸の S_e は飽和露光量といい、出力が飽和する時の露光量を表します。

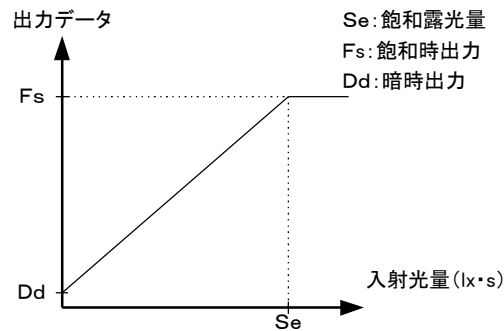


図 4-9-1 飽和露光量と暗時出力

オフセットを設定することで、上図の Y 切片をお客様の希望する値に設定することができます。下図で DF はデジタルオフセット値を示します。この場合、直線の傾きは一定です。

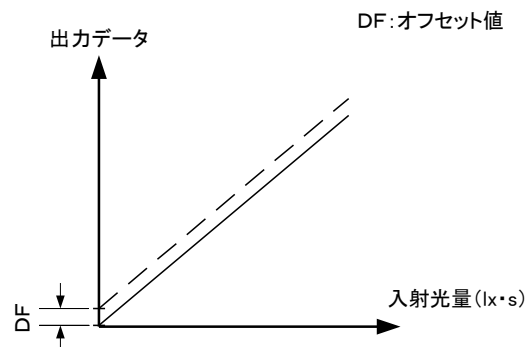


図 4-9-2 オフセット調整

- ◆ オフセットはご使用になるシステムにあわせて調整してください。

4.10 ゲインの設定

本製品ではアナログゲイン（8段階、 $\times 1 \sim 10.0$ ）とデジタルゲインにより、カメラのゲインを調整することが可能です。いずれの場合も、下図の直線の傾きを変えらることになります。ゲインを上げてやると直線の傾きが急になり、少ない露光量で出力が飽和するようになります。つまり、少ない光で多くの出力が得られますので、感度が上がったこととなります。

アナログゲインの設定は 4.2.5.1 項を参照ください。

デジタルゲインの設定は 4.2.5.3 項を参照ください。

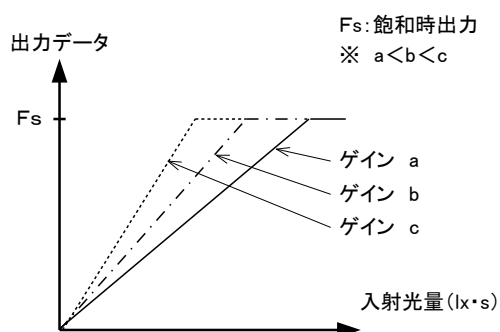


図 4-10-1 ゲインの設定

- ◆ ゲインとノイズ量は比例関係にあります。
- ◆ ゲインはご使用になるシステムにあわせて調整してください。

アナログゲインと感度の関係を下表に示します。

表 4-10-1 ゲイン感度表

	アナログアンプ		感度 (V/lx・s)
0	x1.00	0.0dB	100
1	x2.00	6.0dB	200
2	x3.00	9.5dB	300
3	x4.00	12.0dB	400
4	x5.00	14.0dB	500
5	x6.00	15.6dB	600
6	x8.00	18.1dB	800
7	x10.00	20.0dB	1000

注) デジタルゲイン x 1、画素補正初期値 (工場白補正データ、補正レベル 800DN)

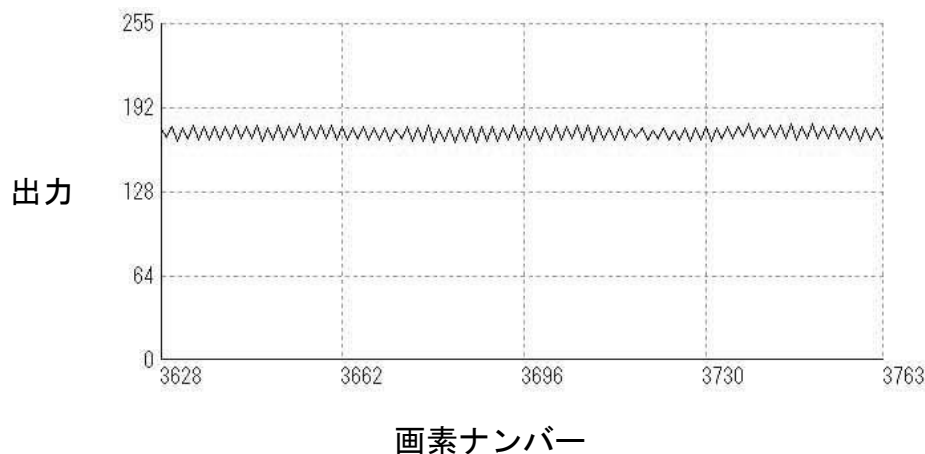
4.11 画素(ビット)補正機能

イメージセンサはその方式 (CCD、CMOS など) によらず、画素毎のオフセットばらつき、感度ばらつきを必ず持っています。また、レンズを使用する場合は、レンズ自身のシェーディングにより画素間の明るさに差が生じます。本製品は画素間のオフセット・感度を完全に補正した状態で出荷するようにしております。こうすることで高品位な画像を得ることができます。

また、レンズのシェーディングやお客様の照明ムラを補正することができるように、あるいは異なる分光特性の照明に変えた事で発生する感度むらを完全になくすことができるようにユーザー白補正機能も内蔵しております。

Cal_bl : 完全ダーク時の各画素の出力データ (デジタル) Cal_wh : 均一光照射時の各画素の出力データ (デジタル) Target_Val : 補正ターゲット値 (10 ビット・デジタル換算値) Vin : 入力データ (デジタル) Vout : 出力データ (デジタル) の時、 $Vout = (Vin - Cal_bl) \times Target_Val / (Cal_wh - Cal_bl)$ で出力データを補正する。

全画素ビット補正前の波形



全画素ビット補正後の波形

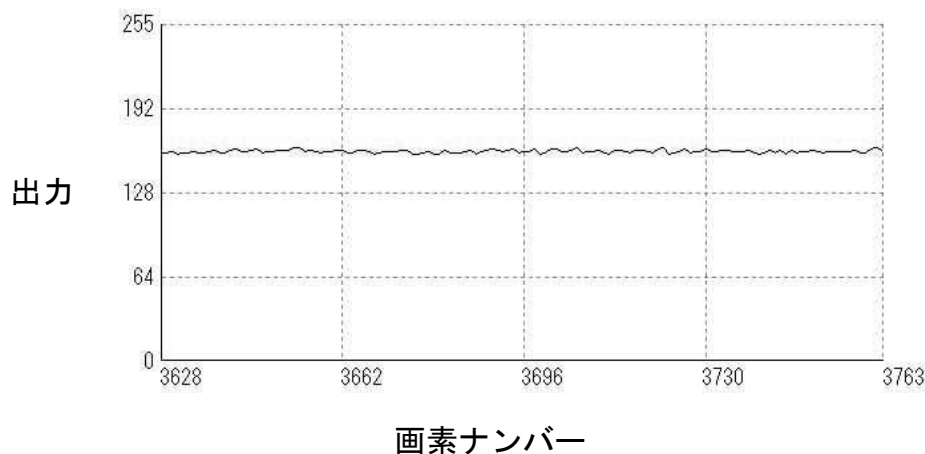


図 4-11-1 全画素ビット補正前後の波形

4.12 テストパターン

お客様のシステムが適切にカメラのデータを取得しているかチェックするために、テストパターンを用意しております。

RMSL8K76CP のテストパターン（10bit 出力）は以下のとおりです。

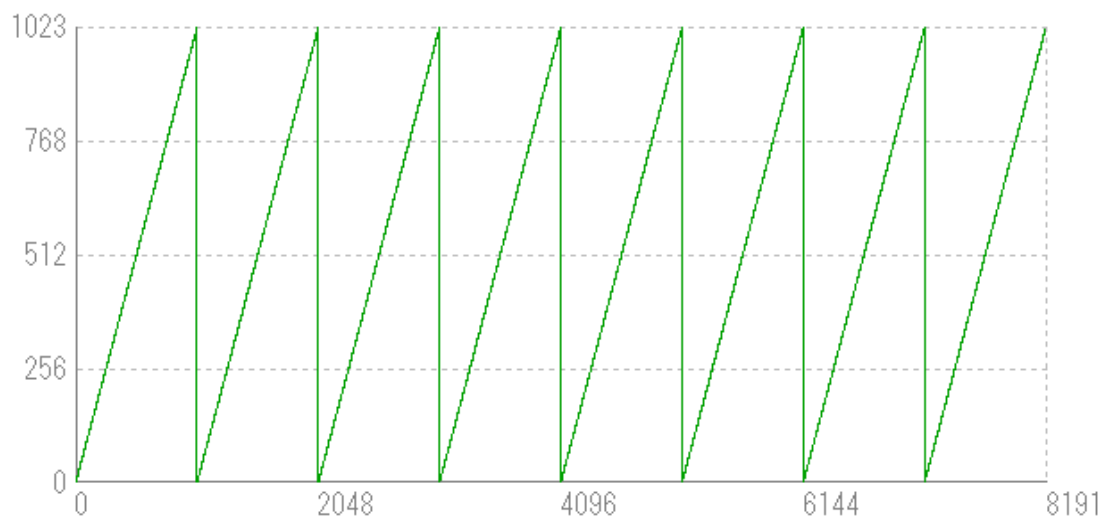


図 4-12-1 RMSL8K76CP テストパターン

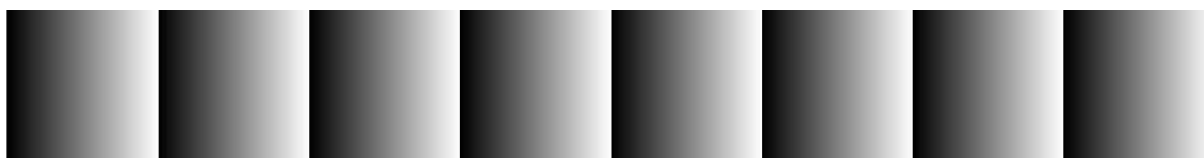


図 4-12-2 RMSL8K76CP テストパターン画像

画素No. 0から順番に10bitデータで0, 1, 2, 3...1023、0, 1, 2というように0から1023までのデータが8回繰り返し出力されます。

8bitデータでは0, 1, 2, 3...255というように0から255までのデータが32回繰り返し出力されます。

RMSL6K76CP のテストパターン（10bit 出力）は以下のとおりです。



図 4-12-3 RMSL6K76CP テストパターン



図 4-12-4 RMSL6K76CP テストパターン画像

画素 No. 0 から順番に 10bit データで 0, 1, 2, 3...1023, 0, 1, 2...511, 0, 1, 2...1023, 0, 1, 2...511 というデータが 4 回繰り返し出力されます。

8bit データでは 0, 1, 2, 3...255 というように 0 から 255 までのデータが 24 回繰り返し出力されます。

RMSL4K76CP のテストパターン（10bit 出力）は以下のとおりです。

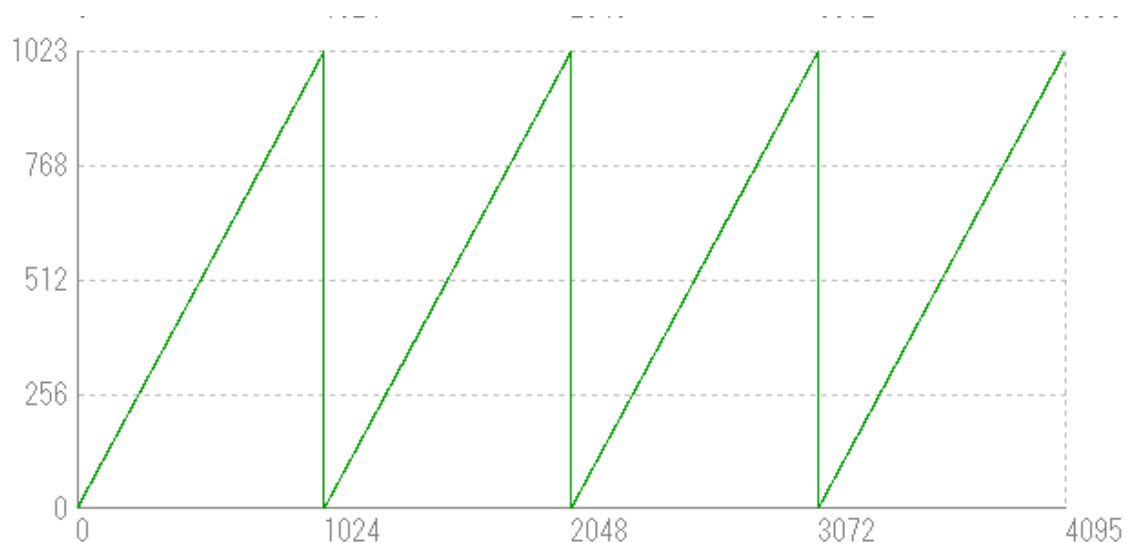


図 4-12-5 RMSL4K76CP テストパターン



図 4-12-6 RMSL4K76CP テストパターン画像

画素 No. 0 から順番に 10bit データで 0, 1, 2, 3...1023、0, 1, 2 というように 0 から 1023 までのデータが 4 回繰り返し出力されます。

8bit データでは 0, 1, 2, 3...255 というように 0 から 255 までのデータが 16 回繰り返し出力されます。

5 センサの取扱

5.1 静電気とセンサ

CMOS センサは静電気ショックによるダメージを受けると特性が劣化することがあります。取扱いには十分注意願います。

5.2 ほこり・油・傷対策

センサ窓は光路内にあるので、他の光学系と同様に十分注意して扱う必要があります。ほこりや粉塵の多い場所でのご使用の際は、必ず粉塵防護策の処置を行ってください。

5.3 センサの清掃

ほこり：エアーで吹き飛ばす。

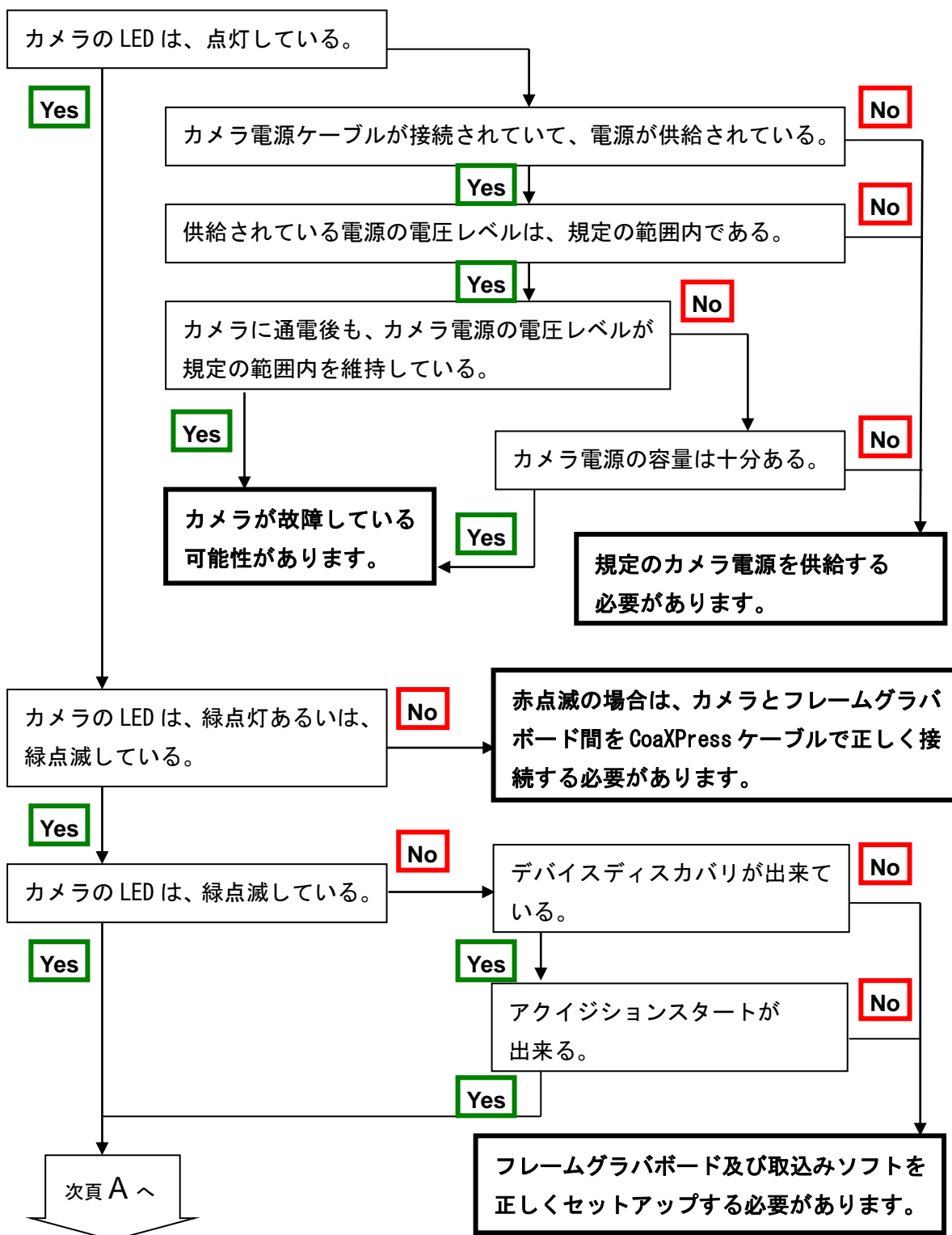
油類：エチルアルコールをつけた繊維の抜け落ちない布で傷をつけないように拭き取る。

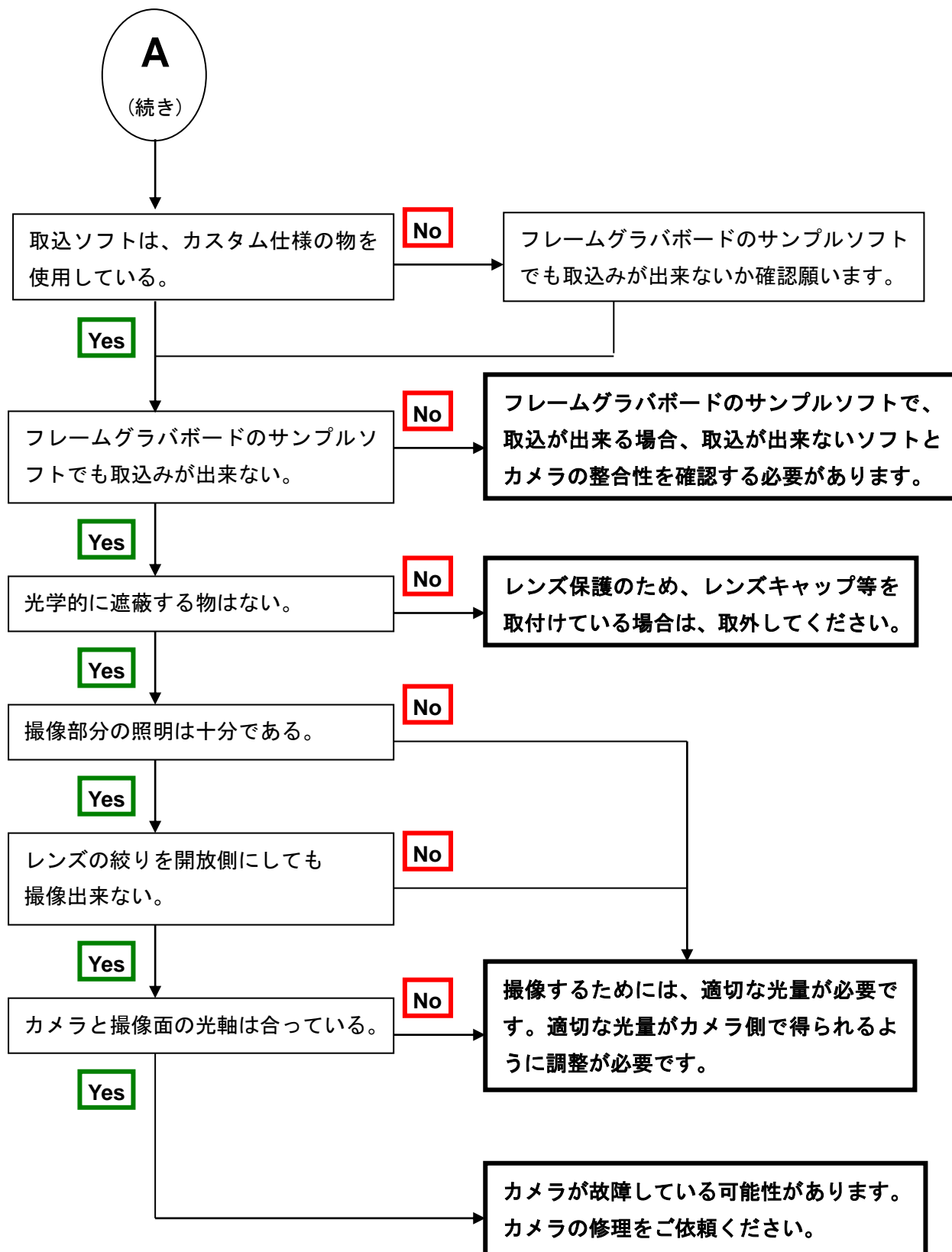
ウインドウガラスの表面にゴミや汚れが付着すると、画像に黒キズとして表示しますので、ゴミはエアブロー等で吹き飛ばし、汚れはエチルアルコールをつけた綿棒等でガラス面にキズをつけないように拭き取ってください。

6 トラブルシューティング

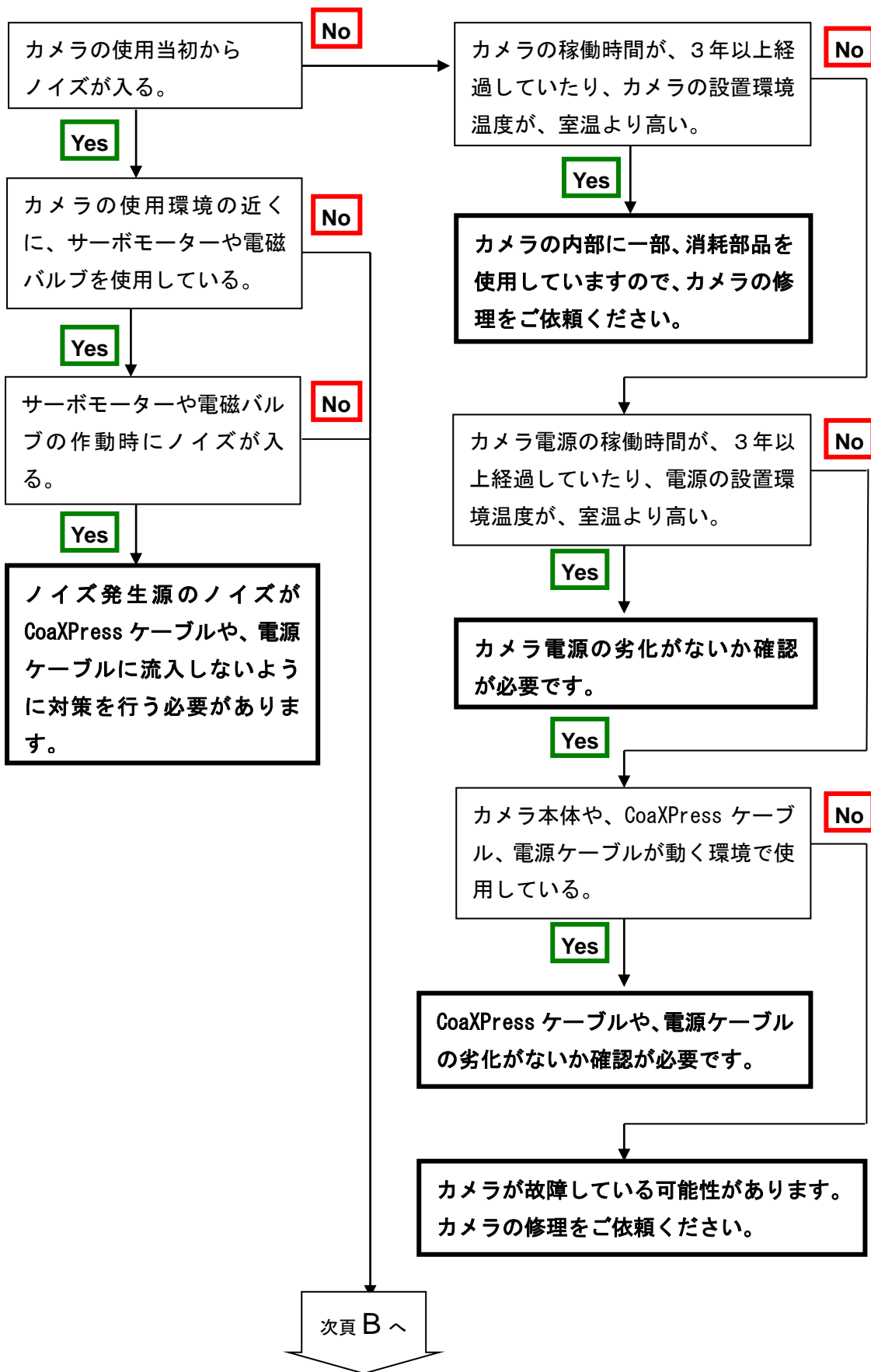
以下のページにはお使いの上で発生しがちなトラブルの原因を挙げてあります。症状に合わせてご覧ください。

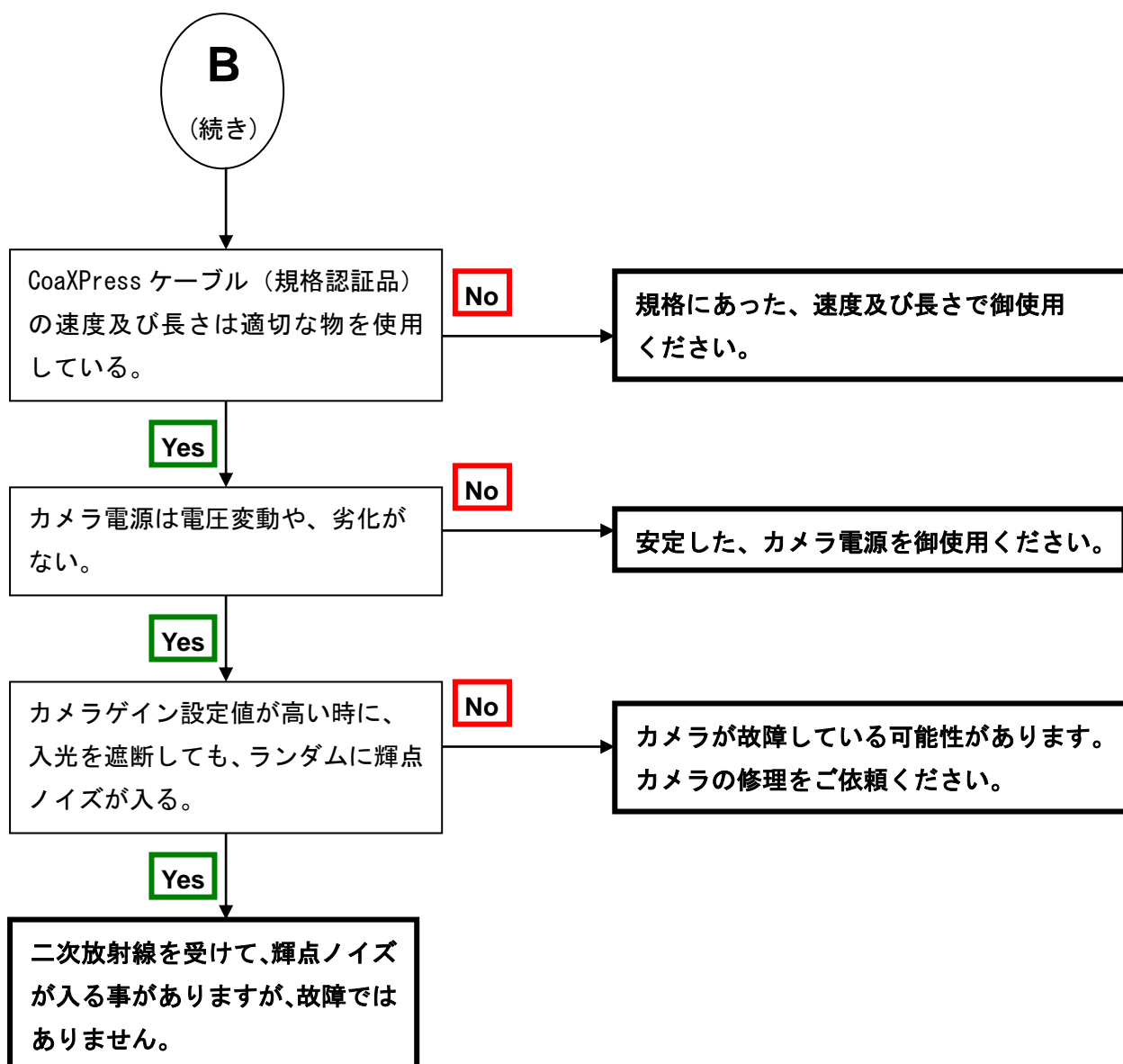
6.1 撮像できない



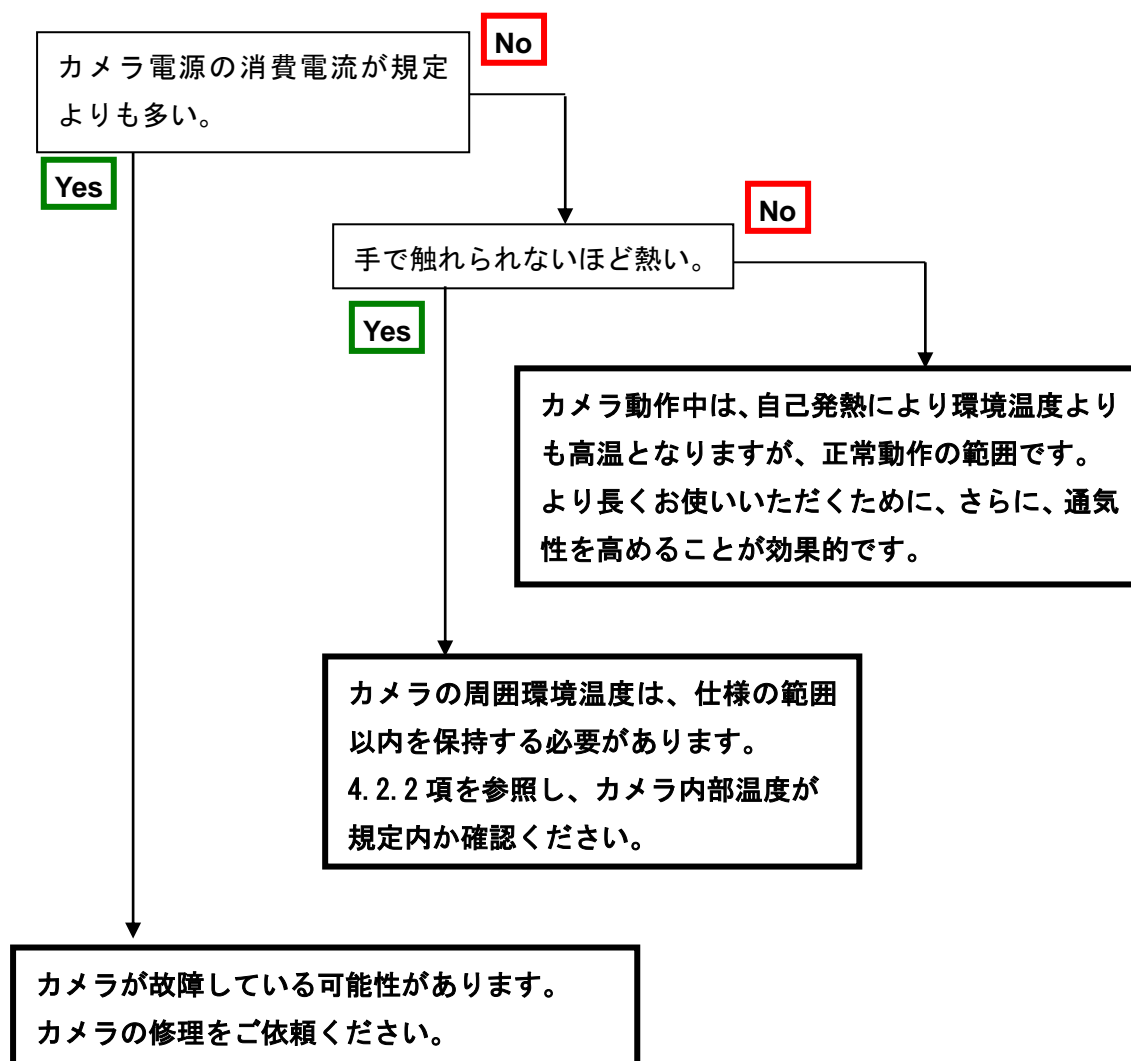


6.2 画像にノイズがはいる





6.3 カメラが熱くなる



7 その他

7.1 お願い

- 本書の内容の一部又は全部を無断転載することは固くお断りします。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を記して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡くださいますようお願いいたします。

7.2 お問い合わせ先

- 本社
〒550-0012 大阪市西区立売堀 2 丁目 5 番 12 号
日本エレクトロセンサリデバイス株式会社
TEL (06)-6534-5300 FAX (06)-6534-6080
- 東京支社
〒140-0014 東京都品川区大井 1 丁目 45 番 2 号
ジブラルタル 大井ビル 402
TEL (03)-5718-3181 FAX (03)-5718-0331
- 西日本支社
〒812-0004 福岡市博多区榎田 1 丁目 8 番 28 号
ツインスクエア
TEL (092)-451-9333 FAX (092)-451-9335
- URL
<http://ned-sensor.co.jp/>
- メールアドレス
<mailto:sales@ned-sensor.com>

7.3 保証とアフターサービス

7.3.1 保証書（別添付）

保証書はよくお読みのうえ、大切に保存してください。

7.3.2 修理を依頼されるとき

トラブルシューティングに従ってご確認の後、直らないときは、まず、電源を切って、上記連絡先にご連絡ください。

その際、不具合が出たカメラの動作状態をメールなどで連絡してください。

改訂履歴

改訂番号	日付	変更内容
01	2018年7月26日	初版発行
02	2020年2月6日	図 2-2-1 RMSL8K76CP 外形寸法図変更